

第7回定例委員会会議録

教 育 長) 開会宣言

教 育 長) 会議成立の宣言

教 育 長) 会議録署名委員の指名（河盛委員）

教 育 長) ここでお諮りいたします。

日程第2、報告第3号「令和6年度教育委員会関係補正予算について」は市議会提出議案のため、非公開で行いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〈異議なしの声〉

御異議なしと認めそのように決定いたします。

教 育 長) 傍聴者がおられますので、入室いただいてよろしいでしょうか。

〈異議なしの声〉

では、入室いただきます。

〈傍聴者入場〉

教 育 長) それでは、審議に入ります。

はじめに、日程第1、第10号議案「令和7年度使用芦屋市立義務教育諸学校教科用図書の採択について」を議題とします。

本議案については、先の4月18日に開催した教育委員会第2回臨時会において、採択に関する基本方針について、議決しているところです。

その基本方針に基づき、中学校用教科用図書については、採択替えを行ない、一方、小学校用教科用図書は、昨年度に採択したものと同一の教科書を採択することを決定しておりますの

で、本日の会議においては、中学校用教科用図書と一般図書について協議を進めていきたいと思います。

まず、再度の確認となりますが、小学校用教科用図書について、現在使用している教科書を継続して使用することで問題は無いと考えますが、皆さんよろしいでしょうか。

〈異議なしの声〉

ありがとうございます。

それでは、小学校用教科用図書については、来年度も本年度と同じ教科書を使用することとします。

それでは次に、来年度からの中学校用教科書について協議を進めていきたいと思います。

協議にあたって、事務局から具体的な説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長)

〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいま、説明のあった手順で進めますが、皆さん、よろしいでしょうか。

〈異議なしの声〉

それでは、国語について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長)

〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

教 育 長) ないようですので、国語の教科書採択について、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

河 盛 委 員) 国語に限らず、どの教科書もよく考えられていると思いますし、工夫されておりますので、これから述べることは、ごくわずかなことについて述べるということで、御承知の上、お願

いします。

「光村図書」の教科書を推薦したいと思います。

冒頭に、谷川俊太郎の「朝のリレー」という詩が掲載されていますが、この詩はほかの教科書でも、あるいは書写でも結構、採択されている詩です。冒頭に、新しい生活が始まるんだというすごいインパクトのある詩だと思いますけど、それが最初のページにカラー刷りで出されていることが、これから新しい生活が始まることをすごく端的に連想させる、そういうことがいいのではないかと考えています。

ここにも書かれていますが、「語彙ブック」です。よく似た、同じような表現だけれども、ちょっとずつ違うニュアンスの表現を出すにはこういうやり方がありますよと示しているので、非常によろしいのではないかと。

具体的な内容については、どの教科書もよくバランスが取れていますし、読書についても、どの教科書も非常によく書けていると思います。

少しよかったのが古典で、割と同じような題材が選ばれているのですが、「光村図書」の教科書では「いろは歌」を採用しています、目線が変わっており、なかなかこれもおもしろかったのではないかと思います。

極楽地委員） 本当に河盛委員おっしゃるとおりで、各社全てが興味深く、学びたくなる工夫がされている。また、論理的思考が学べる構成になっていたかと思います。

日常に役立ったり、活用できる書式、例えば手紙、はがき、あと願書、返信用はがき、小包の送付状、のし袋など、こちら

も各社、工夫がなされていたと思います。

また、コロナ化を経て、G I G Aスクール構想プラスI C Tの活用という面においては、各社ともにQ Rの活用がすばらしく進化しているなと感じまして、自宅でも学べるコンテンツがより充実していたかと思います。

例えば「東京書籍」では、読書のお試しで、読書したくなる工夫がなされていたり。あと3年生の利己と利他など、最近、私自身、心理学、個人的に勉強したいなと思っていたので、興味深く拝見いたしました。

「三省堂」は見開きがよかったり、論理的思考力が1年生で掲載されているところが、とても思考の方法としては分かりやすいなと感じました。

「教育出版」は、各单元ごとに読書案内があるところであったり、対話力、今、芦屋では重視していますが、3年生で掲載がしっかりされているところもいいと感じました。合意形成ですね、対話力の基礎が勉強できるところがよい。

本当に各社ともよかったんですが、中でも現在採用させていただいている「光村図書」が、学習の見通しから振り返りまで、しっかり構成がなされていて、見せ方が上手だなと感じました。、他教科やS D G sなどとの連携、読書についても内容の説明のワードが結構おもしろく、読んでみたいと思う興味を引く工夫がなされていたところもポイントかと思います。

あと、見開きの工夫としては、中2で平家物語、中3では奥の細道など、ページの紙の材質を変えるなどの工夫がされていた点もプラスになります。「光村図書」を推挙したいと思いま

す。

森 川 委 員) 私も「光村図書」を推薦させていただきたいと思います。

理由としましては、河盛委員、極楽地委員が言われていることと重なりますが、冒頭にSDGsが取り上げられていて、関連づけもされていたりすること。それから、言葉の学び方や指導方法について、冒頭でポイントを突いて整備されていて、分かりやすいなと思ったこと。

あと、2年生の教科書で「クマゼミ増加の原因を探る」、大阪市のクマゼミ増加をテーマにした題材を取り上げられていて、芦屋市の近隣の大阪府の中の話であって、生徒が身近に感じる話題ではないかと思ったこと。

加えて、レオナルド・ダビンチの最後の晩餐についての題材も取り上げられていて、美術との関連で、大変勉強になるのではないかと思ったこと。

それから、フォントの形や色、大きさ、配色についても細かい工夫がされていて、大変見やすいなと思ったことから、「光村図書」を推薦させていただきたいと思いました。

三 宅 委 員) 私は、「東京書籍」がいいなと思いました。

というのは、言葉の力で未来を拓くというタイトルのように、これから言語能力、情報活用能力が大事で、自分の意見を自分の言葉で伝えられる言葉の力を身につけることは大事ななと思っていて、それをどのようにしていくのかが、学びを支える言葉の力というコーナーがあるのですが、そこで1年生、2年生、3年生と段階的に情報について、どのように扱うかが詳しく説明されていました。

1年生では分類比較、意見、根拠、原因、結果、2年生で意見、根拠、吟味、そういったことを踏まえて、3年生では、それを信頼性があるのか、反対の関係で見る視点も大事ということも教えてくれて、情報をどう自分で読み解くのかを詳しく載せてくれています。

その中で、対話という形でも、1年生では話の聞き方だとか質問の仕方、2年生で異なる意見の聞き方、3年生では合意形成の仕方、順序立てて生徒たちが実践に役立つような工夫が、この教科書で学べるのかなと思いました。

あと、芦屋市の教育指針の育てたい子どもの姿で、図書という部分がありますが、図書に関しても、例えば読書が嫌いな子どもにどうやって読書をしてもらうかにポイントを置きました。

読書が好きな人はどんどん読書を行って、ポップ作ったり、読書記録カードを作ることができるのですが、読書が苦手な子の目線になった場合、185ページのお試し図書の部分ですが、自分の読んでみたい本を探すことが大事だよということで、生徒の吹き出しがありますが、「ちょっと試すだけだったら手に取りやすかった」とか「いつもと違うジャンルを読んで、意外と面白かった」。全部読まなくてもいいよというところが、読書をする、ちょっと敷居を下げてくれるのかなというのと、ジャンルが違うものを見てみておもしろくて、また違う世界が読書の中で広がっていくのかなと思いました。

あと、本との付き合い方で、いろいろな脳科学者の方や、そういった方がどういう気持ちで本と向き合っているかという読み物も、読んでいて読書をしてみたいなと思わせる工夫がある

のかなと思いました。

私は「東京書籍」がいいと思いました。

教 育 長) 私は、今、委員からのいろいろ御意見のとおりですが、どこも、特に学習指導要領で言いますと、主体的・対話的で深い学び、この辺りで、主体的に学びたくなるところが大事なところだと思います。意欲を引き出す部分。そういう意味では、各社ともそういう工夫がなされているなと思ったのが、まず1番思ったところです。

その中で、特に「光村図書」で「学びのカギ」がありまして、ここが結構、領域を超えたつながりが、非常に学年を通して、領域を通して魅力的であるところと、芦屋は読書を結構、数年来力を入れてきておりますところで、どこも図書館の利用ですとか読書活動に触れられているわけですが、どこが手にとりたくなるかとか、どういう見通しで学習を進めるかで行くと、少し「光村図書」のところを、まず手にとりたくなるような推薦図書リストとか学習の見通し、この辺りと振り返りがセットになっている部分が、子どもたちがこれから自分で学びを進めていく、自分で主体的に進めていく、読書を進めていくところに、僅差ですが魅力を感じまして、私は「光村図書」がいいなと感じたところでございます。

それでは、採択に移ります。

国語の教科書は、皆さんの御意見、3以上でいきますと「光村図書」を採択します。

教 育 長) それでは、書写について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長)

〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

教 育 長) ないようですので、書写の教科書採択について、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

河 盛 委 員) まず、国語と書写の教科書は、ある程度、関連性が強いと思いますので、国語で「光村図書」が選ばれましたので、書写でも「光村図書」を選びたいと思います。まず、それが1つです。

先ほど述べられていましたが、別冊の「書写ブック」で、毛筆と硬筆を非常に関連づけさせているところもよかったと思います。

それから「行書スイッチ」がございまして、楷書との違いを非常に分かりやすく示していたのではないかと。

それから、他社の教科書でもあったんですが、都道府県名を書くところがありまして、これは意外と書けないものです。常用漢字に入っていないものもありますので、これもよかったのではないかと。

極 楽 地 委 員) 御説明あったとおり、各社ともにバランスよく構成がなされているなという形で、どれも素晴らしかったと思います。

ただ、国語と書写との連携が前からあったほうがいいと個人的に思っておりまして。先ほど国語で採択された「光村図書」は、実寸の見開きのつくりになっていまして、半紙プラス書き初め用に加えて、原寸のサイズが多いところで、生徒が、文字のサイズ感が分かりやすいのではないかといいところがいいと思いました。

筆順、注意ポイントの記載が右側にあったり、あと日常に役立つ書式が充実している点、その注意ポイントが赤字で分かりやすいと感じました。

メールだったり、プレゼンだったり、デジタル通信文などの書き方が充実していた点もポイントかなと思います。

1点、他社と比較してのし袋の書き方がなく、個人的には子どもたちに知っておいてもらいたいところなので、少し気にはなりましたが、全体的としては充実していた印象です。

プラス硬筆の練習帳がついている「書写ブック」が別冊でついていて、こちらは、自宅でも練習ができるのもよいかなと感じました。教科書を置き勉強して、「書写ブック」だけ持っただけで、家で練習したりできる場所もプラスだと思います。

トータルとしまして、また国語との連携面においても同じほうがよいかなと思い、「光村図書」を推挙いたしたいと思います。

森 川 委 員) 私も、「光村図書」を推薦させていただきたいと思います。

その理由ですが、筆遣いをツー・トンと、リズムで意識させる工夫をされていたり、河盛委員も言われていました「行書スイッチ」など、感覚的な表現を用いられていて、新鮮に感じ、生徒さんもしっかりいきやすいというか、取っつきやすい工夫がされているなと思ったこと。

あと、SDGsについての記載があること、国語の教科書との連動についても触れられていたりするところもありまして、「光村図書」を推薦させていただきたいと思いました。

三 宅 委 員) 私も「光村図書」がよいと思いました。

というのは、「書写ブック」、書き込めていいのと、日常生活で活用できること、あと、手書きのよさについて話し合ったり、文字、フォント、ユニバーサルデザインフォントについて考えるなど、みんなで考える工夫もされているのいいと思いました。

ただ、もう1社いいと思ったものがあって、そもそも書道が外国から見ると芸術的な取り扱われ方もしていたりするので、芸術として取り上げられている教科書があるのかなという視点で見た場合、「教育出版」がちょっとおもしろくて、『短冊と色紙』だとか、コラムの部分で『日本建築と書』としていたり、1番最後のページに芸術としての書道が取り上げられていて、読みやすさとは異なる美しさという捉えられ方が、書道にいう部分もあってもいい、視点があってもいいのかなと思いました。

けど、実際、生徒たちが学んでいくに当たっていいものがあったとき、日常生活で活用できることに結びついているものがあると思って、「光村図書」がいいと思います。

教 育 長) 私は、まず、それぞれの会社のところ、「東京書籍」のポップ作りとか、芦屋の育てたい姿と重ね合わせていったんですが、「三省堂」でしたら名言集を作るとか、「教育出版」でしたら、同じようにポスターセッションを書くとか、いわゆる学習活動の延長線上でいろいろとできそうだなと。

「光村図書」は、文字の歴史もそうですが、日常に役立つ書式として、入学願書の書き方など、この辺りはまさに、今、これだけタブレットがある中で、生活で結構文字を書くことの必要性で、すごく近い魅力を感じた次第です。

トータルでいきますと、どの方からも出てましたが、別冊の「書写ブック」がある「光村図書」、国語の教科書との連動で、深い学習が可能であると推測できますので、私も「光村図書」を推薦したいと考えています。

それでは、採択に移ります。

書写の教科書は「光村図書」を採択します。

教 育 長) それでは、社会（地理）について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

教 育 長) ないようですので、社会（地理）の教科書採択について、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

極 楽 地 委 員) こちらも各社、市の方向性に合った、覚えるのではなく自ら課題を見つける、「主体的・対話的で深い学び」に力を入れているところを、しっかりとつくられていたと思います。

情報を集めて、子ども同士で学び合う姿勢を視点において、各社ともすばらしいなと感じました。

今回、1社に絞りかねまして、現在の「日本文教出版」と「帝国書院」、2社、両方ともいいなと思いました。

今採用されている「日本文教出版」は、ページ内のレイアウトがとてもバランスがよくて、頭に入ってくる作りであるところと、まとめと振り返りが、生徒が筋道を立てて論理的に学べる作りになっているところ。ウクライナ問題がしっかりと記載がなされているところも、今の情報としては強いかなと感じ

じました。

第3編の地域調査の手法、関西の項目がかなり強く入っていきまして、兵庫県のコウノトリであるとか、阪神・淡路大震災、万博についてなど、生徒たちに勉強してほしい記載が多くありました。

京都・奈良に校外学習で中学生は行くので、イメージがしやすいので、そちらの勉強もできる点も「日本文教出版」がよいと思いました。

「帝国書院」は、こちらにも「確認しよう」という欄で、地図との連携がしっかりと記載がされていて、より深い学びができるという点、構成になっているのがよいなと感じました。

また、地域のあり方の概念において、神戸がフォーカスされていて、芦屋にとって阪神・淡路大震災もしっかりと記載がなされているという点もポイントが高いと感じました。

ほかの各エリアの学習についても興味深い内容がたくさん記載されていて、近畿地方では無電柱化の20年前との比較だったり、京都の町屋の感想などがすごくおもしろいと感じました。

現在の「日本文教出版」と「帝国書院」、2社を推薦させていただきます。

森川委員) 私は、「帝国書院」を推薦させていただきたいと思いました。

理由は、地理という科目は地図帳を使って勉強することが大事ではないかなと個人的には思っていて、そういう意味で、地図帳を活用するというアイコンがあって、生徒がそれをしやすい

いような工夫がされていると思ったこと。

また、対話アイコンなど対話を通した学び、また、小学校や他教科との連携についても取り組みやすい工夫がされているように感じたこと。あと、極楽地委員が言われていましたが、阪神・淡路大震災について大きく取り上げられていることから、「帝国書院」を推薦させていただきたいと思いました。

三宅委員) 私は、「東京書籍」を推薦したいと思いました。

地域調査の手法は神戸を取り上げられていていいなと思ったのと、あと写真から探ろうというところがいろいろな教科書で取り上げられているのですが、人々の生活と環境を写真から読み取りましょうというページで、「東京書籍」が34、35ページで取り上げられていて、ほか、「日本文教出版」は43ページだとか、あと「帝国書院」は27ページで出ているのですが、生徒たちがみんなで話し合って、想像して答えましょうというときに、こういうところで発言していくことも大事だと思って、これを見てみたのですが。

例えば、「帝国書院」だと写真の読み取り方で、3段階に分かれているのですが、こうだからこう、こう、1個目も書いてあるのです。2個目もこうで、売り物に注目して、だからこういえると言えますね。じゃあ、3番目はどうでしょうかという質問です。大体私たち大人でもそうですが、前の人の言い方をそのまま真似をしてしまうところがあって、これだとせっかく写真で読み取るところが、何か誘導してしまっているかなと思いました。

一方、「東京書籍」は見やすく、写真も大きく3枚出ていま

して、その写真から探ろうというところで、ヒントは載っていますけど、これを見て、自分で見つけたことなどを発表できる形になっているのが、自ら考えて答えを出していく姿勢に合っているのかなと思って、ここの部分を評価しました。

持続可能な地域のあり方で、先ほど委員の方、皆さん、おっしゃったように、「帝国書院」が神戸を取り上げられていていいのかなと思ったのですが、「東京書籍」は広島です。広島に行って、学んでどうかの生徒の吹き出しで、広島に行ったら、ハラル認証を取ったおまんじゅう、そういうおまんじゅう屋さんのお土産屋さんがあってもいいのではないかという提案などから、今を見ているなと思いました。

アフリカで薬剤師として働く人のお話もコラムで出てますけど、一方的な支援ではなく、お互いを知り学び合うことが大事と書いてあり、このような視点がこれから大切かと思います。一方、他の教科書では、例えばアフリカ州で、植民地支配の影響が残る産業とタイトルで出ていたりもしていて、それは過去の一断面からの前提で見てしまうことになってしまっていて、地理は歴史と違って、今を見るのが大事だと思うので、そういった意味でも、「東京書籍」が、ハラルまんじゅうの提案など、今の地理に着目しているというそういったものがあるのいいなと思いました。

逆に、持続可能な地域のあり方を探究するときに、「東京書籍」は広島を取り上げていますが、これを参考に、芦屋の子どもたちの場合は、阪神・淡路大震災のことを踏まえて、自分たちで探究で取り組むことがいいのかなと思いました。

私は、「東京書籍」がよいと思いました。

河 盛 委 員) 私は、「帝国書院」を推薦させていただきます。

森川委員が言われたように、地理は地図帳との関連がかなり強いと思いますが、「帝国書院」の地図帳がすごくいいです。そういうことで、「帝国書院」を推薦させていただきます。

あと、付け足しみたいなものですが、隣国の中国・韓国についての記述が「帝国書院」、割と詳しく書いてある。そういうものも、よろしいのではないかなと思いました。

教 育 長) 私は、探究のプロセスで少し見ていきました。どことも環境・平和・防災、ここはさっき事務局からもありましたところで、日系人のこととか震災のこと、ここは共通しているところでした。これからの学習の学びの進め方みたいなところが、だんだんと中学生にもなると、どんどん自分で進めていけるようにとも考えまして。

特に、「東京書籍」のまとめの活動部分があります。「帝国書院」も同じような形で、学習を振り返ろうのところで、割と探究型のプロセスが示されてありまして、非常にどっちなところだったのですが、事業者の立場、学びを進める子どもの立場からすると、対話でヒントが示されてある、対話のヒントが分かりやすく示されてあるところで、「帝国書院」が、この流れから行けば、子どもたちにとって、教員と一緒に子ども同士も対話をしながら進めるに当たっては、このヒントは結構、役立つのではないかという視点で、私は「帝国書院」を推薦したいと考えております。

それでは、採択に移ります。

それでは、極楽地委員が「日本文教出版」と「帝国書院」、三宅委員は「東京書籍」で、河盛委員、森川委員、私が「帝国書院」で、3人以上の一致で、社会（地理）の教科書は「帝国書院」を採択します。

教 育 長) それでは、社会（歴史）について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

教 育 長) ないようですので、社会（歴史）の教科書採択について、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

極 楽 地 委 員) どの教科書も写真やコメント、あと表、画像などが効果的に用いられていまして、子どもたちが歴史に楽しく興味を持つ工夫がされていると感じました。私自身も見ながら、学び直したくなるような、わくわくしたつくりになっていました。

私、高2の子どもがおりますが、今、中学校の授業は考えさせる授業になっているということで、すごく難しいと中学当時は言っていたのですが、中学校の学びのおかげで、高校でかなり社会が楽しくなったようで、社会が好きになり、世界史、日本史をもっと勉強したいと言っています。その観点から、受験のための暗記する社会ではなく、高校以降の学びにつながるような視点も私自身は重視をいたしました。

中でも、今、採用されている「教育出版」、タイトルが、構引きがあるキャッチーなタイトルがつけられていて、例えばギリシャローマの古代文明などは、「全ての道はローマに通

ず」などのタイトルが入っていて、子どもたちが学びたくなるアプローチがなされているなと感じました。一方で、先生の教え方だったり、どうしても高校受験に関係する教科でもありますので、生徒による理解力に差が出るのではないかというところが、おもしろい反面、気になるところでもありました。

もう1社よいと感じたのが「日本文教出版」です。こちらは、各単元の節ごとに問いがありまして、まとめと振り返りを改めて追及することによって、主体的に知識の定着が図れるという視点。また、調査や活動の振り返りなどの思考もしっかりと分かりやすく説明がなされている点において、調査報告書にもありますが、最も主体的・対話的で深い学びを実現できると思いました。総合的な観点により、「日本文教出版」を推挙いたします。

森 川 委 員) 私は、「日本文教出版」を推薦させていただきたいと思いました。

その理由は、冒頭のところに、私たちと歴史という文があって、その中に、歴史の歴史的な見方について詳しく簡潔に述べられていたり、あと身近な地域の歴史の研究という題材で大阪市内が取り上げられていて、近隣市が題材にされていて、生徒にとっては取っつきやすいかなと思ったこと。

また、その内容についても、文献を調べたら、その引用の仕方まで細かく書かれている。図書の場合、著者名、著者、出版社、出版名であったり、そういったことを書くとか、あと聞き取り調査の仕方、相手の都合などを考えて訪問予約を取るとか、具体的な実践を想定した書き方がされていたりして、非常

に生徒さんが使いやすいのかなと思ったところで。

過去の断片的な事実や資料から、一定の流れを自分なりに考える力がこれからも非常に重要なものだと思うので、そういったところに重点を置かれているところが、非常に印象的に残りました。

以上から、「日本文教出版」を推薦させていただきたいと思います。

三宅委員) 私は、「帝国書院」を推薦したいと思います。

歴史の謎を探ろうというところで、最初のほうのページですが、これから主体的な学びで、探究学習に取り組む部分で、ほかの教科書も、歴史から探ろうというものはあったのですが、「帝国書院」は、本当、身近な謎について。この例えだと、橋があるが、川があって、水がないのは何だろうということから探っていく、何かの資料を見て探していくより、自分が生活していて、はてなマークのものを歴史の視点から探っていこうという捉え方が、すごく今、求められている生徒の像なのかなと思いました。

探ることで知ることの楽しさもつながりますし、これも調査方法など、いろいろなことも詳しく載っていたので、これからの探究の学びを表しているのかなと感じました。

芦屋で言うと、探究というと、私、いつもバスを乗るのですが、永保橋というバス停があるのですが、橋がない場所があつて、そういったところも、身近に芦屋の生徒たちも調べていく題材もある、周りにあふれているのかなと思いました。

あと、タイムトラベルがすごく絵で見て分かりやすいなと思

って、これも気づいたところを皆で言い合おうということもいいなと思いました。

これと同じように、もっと分かりやすかったものが「日本文教出版」で、ここの場合は、編ごとに次の時代へ移る、それぞれの時代の絵がすごく分かりやすく載っていて、それで違いに気づいたことを話し合うことがあるのですが、生徒たちが違いを見つけて、違いに気づき、実際にこれから学んでいくときに、時代によってどう変わっているのかを感じて、わくわくとした気持ちで学習に向かえるのかなという気もしました。

ただ、今、私が選定で大切な要素の一つと思っている探究から見た場合、「帝国書院」と思いました。

河 盛 委 員) 私は、個人的には「山川出版社」の歴史の本が好きですが、古代や中世はかなり詳しく書いてあって、他社の教科書では、さらっと語句だけ書いてあるものが、結構詳しく説明してあったりして、分かりやすくなっているのですが。ただ、字が他社に比べて小さいことがあるのと、それと詳し過ぎることが、逆にあまり歴史が好きな子でないと、まあまあ負担になるのではないか。ページ数の関係で、後半が簡略になっているのかなという感じがします。

中学の教科書として推薦したいのが、「日本文教出版」です。

こちらは、全体的なバランスが非常に取れています。先ほどの「山川出版社」と逆に、近代以降がかなり詳しくなっていて、写真も図表も非常に大きい。ハンセン病のことが書かれておりまして、今現在、話題になっていることが書かれていることもいいかなと思ひまして、「日本文教出版」の教科書

を推薦いたします。

教 育 長) 私も、まず一番思ったのが、それぞれ歴史のところですので、非常に好きな子たちにとってという見方もありますし、苦手な子たちにとっての見方もあるというのがありますけど、いずれにしても意欲を引き出そうという部分ですとか、仲間と協議してみたいな部分は、どことも割と力を入れている部分だと感じた次第です。

その中で、特に先ほどから出ている「帝国書院」と「日本文教出版」が、ちょっと似たようなところで、特に単元のまとめみたいなのところ、近世や中世のまとめのところ、年表と思考判断がタイアップされている形で示されていたので、どちらが進めやすく、あるいは学びとして振り返りやすいのかなと見ておりました。

その中で、「日本文教出版」が、トータルで全部の時代で見たときに、まとめのところが、子どもたちのいわゆる層として、自分で振り返ったり、自分で学習、例えば定期テストとか入試に向かっていったときに、1人で学ぶには「日本文教出版」が、割と進めやすさというか、1人学びになったときはこちらかなという感じがしました。そういう意味で、「日本文教出版」を推薦したいと思います。

それでは、採択に移ります。

社会（歴史）の教科書は「日本文教出版」を採択します。

教 育 長) それでは、社会（公民）について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長)

〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

教 育 長) ないようですので、社会（公民）の教科書採択について、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

森 川 委 員) 私は、「日本文教出版」を推薦させていただきたいと思いました。

理由ですが、漫画が効果的に使われているということです。選挙だけではなくて、立憲主義についても分かりやすく説明されていたり、内容については民主主義が現代、かなりいろいろ議論がされているところだとは思いますが、多数者の利益のために少数者の権利を不当に奪うことは許されないことがはっきりと書かれていることや、現代的な様々な問題、新聞に出てくるような最近のトピックについても多数触れられている。例えば、ハンセン病の問題の経過であったり、えん罪や日本の難民支援についての記述もあって、深く考えるような工夫がされていると思いました。

兵庫県とのつながりについても、「コウノトリが育むお米」の豊岡市の取組が紹介されていました。

司法のところでは、なぜ被告人の弁護をするのかという素朴な疑問にも配慮された記述がありました。

最後の国際的なところでは、人間の安全保障、非常に重要な概念ですが、そういったところについての記述もされています。

全体的にみても、文字の大きさや色やフォントを変えたりして、読みやすくする工夫がされているなど感じたことから、「日本文教出版」を推薦させていただきたいと思いました。

三宅委員） 私も、「日本文教出版」がよいと思いました。

芦屋では、外国人児童生徒が多くいらっしゃるということで、グローバル化の部分、多文化共生の部分で、「日本文教出版」の教科書の写真は、外国人の人に言葉の案内をしている写真が出ていました。ところが、ほかの教科書は、外国籍の子どもを支援している勉強風景の写真が出ていました。

その部分で、これからの多文化・グローバル化の課題として、そういう写真が載っていると、芦屋の子どもたち、当事者がいるから、そこで載っていると気分が落ち込んでしまうかなということもあり、そうじゃない、日本語の通訳的な写真を使われている「日本文教出版」がよいなと思って。「日本文教出版」は、日本国憲法と基本的人権の共生社会を目指してというところに、日本語指導を受けている外国籍の子どもの写真を使っていました。

ここでは、外国人とともに生きていく社会で、社会の一員として、一緒に日本社会をつくり上げていくところで、外国籍の子どもたちの写真を使われている、こうした適切な写真の配置などの部分で、「日本文教出版」がよいと思いました。

あと、巻末に詳しく思考ツールも載っていて、これも自分の意見を伝えるときに、こういうものを利用したらいいと本当に詳しく載っていたので、それも利用できるなと思いました。

河盛委員） 私も、「日本文教出版」の教科書を推薦いたします。

私の偏見かもしれませんが、公民はあまりおもしろい教科とは思えないです。退屈な教科というイメージがありますが、それを、漫画を大胆に、効果的に使ってもらって、非常に生徒た

ちを引き込んでいるのではないかと思います。

極楽地委員) 河盛委員がおっしゃるとおり、私も、公民が苦手だったのですが、地・歴・公民で、公民は社会科のまとめということで、今になって、改めて大切な教科だと実感しています。

答えがない、変化の多い、難しい語意も多い分野ですが、対立と合意だったり、効率と公正だったり、大人になって社会で必要な大切な知識だなと感じています。

高校の倫理や政治経済にもつながる大事な分野だと思います。苦手意識を持たないよう、子どもたちが学びたいと思う仕様、その視点を主で考えました。

中でも、「教育出版」と「日本文教出版」で迷いました。「教育出版」のつながりへの気づき、本質的な問い、というフレーズをうまく活用されているところ。芦屋の方向性として、つながりだったり、対話だったり、本質的というところは、大事にしているので。熟議ができる仕様になっていることもポイントで、社会科の最後の学習の集大成としていいのではと感じました。ただ、歴史と同じく、タイトルに工夫がなされている反面、授業の進め方や生徒の理解力に差が生じる可能性があるのではないかというところがやはり気になりました。

一方で「日本文教出版」が全体的に、主体的に学べるつくりになっていて、歴史と同様にとてもバランスよくうまくつくられていると思いました。対話的・主体的に学びながら個々でも勉強できるところ、実践のための分野もしっかりと担保されるところ。

あと、近畿や兵庫県の情報がとても多いということで、例え

ば自分たちのまちの首長を選ぼうというチャレンジのページ。
昨年芦屋も市長が代わりましたが、今、政治に子どもたちが
関心を持っているので、教科書としては丁度な教科書かなと感じ
ました。

プラスアルファの情報が充実している点、適切な画像やコメ
ントが掲載されている点、あと部落やコリアンタウン、平等権
や自由権、社会権など、必要な基礎が全部入っている点。中学
生の学びとしてはトータルでバランスがとれていて最適である
ことから、「日本文教出版」を推薦したいと思います。

教 育 長) 私は、いろいろ共通していたなところで、課題を明確に持
たせてみたいなところは共通していたな。昨今の問題で言うと、
よくSDGs、環境問題はどことも取り扱って、日本に限らず
というところもございますし、多様性の部分、認め合う部分で
すが、平等権、社会権、いろいろな人権的な部分、この辺りも
共通していたなと。

そこで、どんなふうに子どもたちと一緒に学んでいけるかで
行くと、特に「東京書籍」と「日本文教出版」で、おっと思っ
たのが多様な思考ツール。フィッシュボーンとかシンキングツ
ール、この辺りが思考過程で使ったり、プレゼンの段階、まと
めの段階で使ったり、この整理の手がかりみたいなところが非
常に興味深いところがありました。

最終的にはお話、幾らか出ていましたが、分かりやすさ、取
っつきやすさみたいなところで行くと、「日本文教出版」が少
し、そういう意味では取り組みやすい形かと思いましたので、
「日本文教出版」を推薦いたします。

それでは、採択に移ります。

社会（公民）の教科書は「日本文教出版」を採択します。

教 育 長 ） それでは、地図について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長） 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長 ） ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

教 育 長 ） ないようですので、地図の教科書採択について、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

森 川 委 員 ） 私は、「帝国書院」を推薦させていただきたいと思いました。理由ですが、まず、大阪湾周辺の地形図が見開きで掲載されているページがあって、そこには芦屋市の会下山遺跡、朝日ヶ丘遺跡が掲載されていること。あと「神戸市付近の地震災害への備え」という地図があることから、芦屋市・兵庫県とのつながりをイメージしやすいと思いました。

それから、アジア大陸から見た日本地図というページがあって、おもしろいなと思いました。

世界地図は見方によって全然、雰囲気というか感じ方が違うので、そういったところへの工夫もされていたりする。

あと、尖閣諸島であったり、北方領土、竹島といった領土問題についての説明があること。

そのほか、日本国内の地図では、瀬戸内海近辺の歴史について学べる地図が見開きであって、奈良時代から江戸時代にかけての歴史上重要な地名が掲載されていて、歴史とのつながりで深い学びができるようになっているのではないかと思ったこと。

あと、沖縄の南部の激戦地の地理や沖縄の米軍基地の範囲や

割合が分かりやすく示されていて、今日的な問題を考える上でも役に立つのではないかと、分かりやすいのではないかと思います。まして、様々な工夫がされているところで、「帝国書院」を推薦させていただきたいと思いました。

三宅委員) 私も、「帝国書院」を推薦したいと思います。

地図の初めに、地図で考える持続可能な社会が数ページ取り上げられていることも、今のことを見るのにいいのかなと思いました。

あと、それぞれ世界の地図では、日本との結びつきのものが載っていることもいいと思っています。

アジア州やヨーロッパ州では、過去のアジアの写真、過去の国境の変化などの地図も載っていて、それも歴史と関連して学べるかなと思いました。

楽しい工夫で、世界の資料のページの地図などは、イラストで伝統服やその国の建築物などが載っていて、こんなものを見ていて、楽しいなという工夫がされていると思いました。

国内では、近畿地方を見てみたんですが、地図で発見では、防災や歴史に結びつけて考えられるようになっていたり、あと広い地域が載っているので、芦屋市も見ることができましたし、京阪神のこと、人口がどう移っているかも載っていたりして、自分の地区から見ることのできる地図だと思って、「帝国書院」がいいと思いました。

河盛委員) 私も、「帝国書院」がいいと思いました。

何と見ても見やすいことが一番の理由です。「東京書籍」の地図に比べると、全体的に薄めの色を採用されています。そ

れが見やすい理由になっているのではないかと思うのですが、例えば地図に人口とか産業とか、ごちゃごちゃ載っているとすごく見にくくなる。「東京書籍」は色が濃いので、さらに見にくくなっているような気がするのですが、割と「帝国書院」のほうがずっと見られる。そういうところが一番大きな理由です。

先ほど出たかどうか忘れましたが、大陸から見た日本という地図がありまして、日本が北側にポロンと出ている。東アジアと日本の関係が、非常に考えさせられるような地図ではなかったかと。

先ほども出ましたが、日本との結びつきのグラフがありまして、例えば南アフリカだと、貿易、全部希少金属ばかりです。モーリタニアは日本であまりなじみがないですが、タコが輸出の2位になっている。あまり身近でないと思われる国が日本と関係があることを示している、いい地図ではないかと思いました。

極楽地委員） 両社とも見やすいというのが第一印象で、今の子どもたちはいいなという印象です。世界地図についても、高低が分かりやすかったり、鳥瞰図が多用されているので、イメージがしやすく、記憶に残るつくりになっていると思います。

「東京書籍」は、例えば、91から94ページ、大阪・神戸・京都などの市内がすっきりと見やすく、京都の上がる、下がるだったり、京都の地名などの説明が分かりやすく掲載されていて、いいなと思いました。

また、大阪駅周辺の昔との比較、地図や航空写真が載っている点、37ページから38ページですと、ヨーロッパの鳥瞰図

が、海溝の深さの色がグラデーションでしっかりと記載されていて、分かりやすく感じました。

「帝国書院」は、107ページの大阪湾周辺の地形がかなり分かりやすく、芦屋だったら朝日ヶ丘のエリア記載がしっかりあることが、ちょっとうれしく思ったりしました。

神戸や、阪神間もしっかりと記載がある点と、103ページにおいては、防災学校の紹介として、神戸市の長田中学校の写真の掲載があったのですが、芦屋の精道中学校の屋上にもプールがあって、同じく防災学校になっていますので、より身近に感じイメージしやすいという点、地理科目との連動、あと近畿、芦屋の見やすさ、現在採用されている点など、全体的なバランスを考えまして、「帝国書院」を推薦したいと思います。

教 育 長) 私も、一番見やすさと、防災の視点とか、この辺りの芦屋や京阪神の見た目の、初見の、最初見たときの興味の引き方。この辺りで「帝国書院」のほうが、そこは引きがあるなという感じがしました。

何より地理との連動、今、極楽地委員からありましたが、学習の流れもそうですが、授業以外でもう1回地図を見開いたときに、ちょっと興味を引きやすいのは「帝国書院」かなと感じましたので、「帝国書院」を推薦したいと思います。

それでは、採択に移ります。

地図の教科書は「帝国書院」を採択します。

教 育 長) それでは、数学について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はあ

りませんか。

ないようですので、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

三宅委員) 私は、「学校図書」が良いと思いました。章だけでなく節も質問形式ではじまり、イラストで登場する生徒たちの色々と疑問に思ったことが、吹き出しになっていて一方的な説明ではなく、生徒たちが一緒に考えながら理解していくような工夫があります。説明も段階的に順序立てられていて、問いをたてながらすすめていくようになっていることで、問題を解く事だけでなく、考えながら、理解していくような工夫がされていると思いました。

また、「正の数・負の数」や「図形の移動」などの図も、目で見てわかりやすい工夫がされていたり、数学で使用する言葉も、先に言葉を示すのではなく、理解できるような説明をしてから、これをこのように言うとなっていたり、普段、外国人児童と一緒に教科学習をしています。数学で使われる言葉がわからないことから、よけいに数学嫌いなることもあるので、数学の言葉がこのように載っているのは、わかりやすいなと思いました。

2年生のP40の連立方程式では、見開き全体に目を引く遊園地のイラストがあり「何回ずつ乗った？」となっていて、よくあるお饅頭やお菓子は、何個ずつ？と違って、数学が苦手な生徒たちも学習に取り組みやすいのかなと思いました。

「さらなる数学へ」や章ごとの「活用」「深めよう」では、社会の中で数学がどう役に立つのか、関係しているのかなど、さらに数学を学ぶ興味にもつながると思いました。

河 盛 委 員) 私は、「日本文教出版」の教科書を推薦させていただきます。

各学年の巻末に数学前トライというコーナーがありまして、
どんどん進んだ内容を、自分で好きな人はやっていきましょう
と書いてありまして、これも数学の探究みたいなものなので、
よろしいのではないかと思います。

ただ、ちょっと引かかるのは、ゼロで割ることはできない
ということ、ゼロでは割らないことにすると書いてあります、
この教科書は。他社は何とか説明しようとしているのですが、
ここは割らないことにすると、それは残念だなということがあ
りました。

極 楽 地 委 員) 各社、昔と違う詰め込みの学びではなくて、分かりやすく、
実際に子どもたちが実生活で活用できる、興味を引くつくりにな
っているなど、学び方も変わったなと感じました。

また、ICTの活用で、より幅が広がったとも感じました。

芦屋は、全国学力・学習状況調査などでも数学のレベルが高
い市になっている反面、三宅委員が言われるように苦手という
生徒も多いので、難しすぎず簡単すぎず、バランスが取れてい
るという視点で拝見いたしました。

数学は、苦手意識や好き嫌いが大きく差が出る教科で、高校
入試に向けて、高校生では、またさらに数学Ⅰ・Ⅱ・ α ・ β と
格段に難しくなっていきますが、より多くの子どもたちができ
るだけ苦手意識を持たず、基礎を理解できるという視点は大事
かと思います。

2社で迷ったのですが、まず「日本文教出版」ですが、つく

りが非常に丁寧で見やすいところ、理解したり、覚えな
ない式や定理、ポイントが非常に分かりやすかったです。た
だ解くのではなく、写真やイラストが多用されていて、生活
の中で具体として生かせる知識を学べるところが数学に興味を持
てる構成になっていると感じました。

学び合おうというところにはディスカッションができるところ
で、全てのバランスがいいなと感じています。

あと、もう1社は「啓林館」ですが、こちらも非常に見やす
い、バランスもよいなと感じました。何よりもICTの活用で、
QRコードで、解説の動画が全ての問題についているところで、
家庭での予習だったり復習が自学習でも理解しやすいことで、
学校を欠席したり行きづらいお子さんだったりも使いやすいの
かなというところが非常に丁寧だなと感じました。

あと、ノートまとめが数学は重要だと子どもも言っていたの
ですが、こちらは動画として、ノートの書き方がしっかりと掲
載されていることが良かったです。

以上、2社、「啓林館」と「日本文教出版」を推挙いたしま
す。

森 川 委 員) 私は、「日本文教出版」と「東京書籍」で悩んで、どちら
か決めかねましたので、2社を推薦させていただきたいと思
いました。

「日本文教出版」は、非常にシンプルではあるのですが、ポ
イントがまとめられている、非常に分かりやすい。数学の本質
の一つは美しさなのかなと個人的には思ったりするので、教科
書が美しく感じたところで、「日本文教出版」がいいなと思

ました。

あともう1社、迷ったのが「東京書籍」でした。「東京書籍」は、「MATH CONNECT」と副題に挙げられているのですが、数学が身の回りであったり、社会であったり、あるいは算数とつながっているとかICTとつながっているとか、そういったつながりを意識されてつくられているのが非常に良かったです。

内容としまして、1年生の冒頭では、九九の表から数学の法則を探し出しましょうといったテーマがございまして、非常に興味深く思いました。数を楽しむというか、数と向き合っているというか、生徒さんにそういったところの楽しさを感じていただきやすいのかなと思ったところがございました。

そういったところで、「日本文教出版」と「東京書籍」の2社を推薦させていただきたいと思いました。

教 育 長) 私は、まず数学の本質のところ、いわゆる生活とどうつながっているかという部分です。この辺りは非常に興味を引くところでして、そこで言えば、どの会社もそういう方向で示されていたかなと感じました。

あと、どんなふうに今度、学びを主体的に行うか、1人で学ぶときもあれば、振り返ってまとめの学びのときもありますし、協働的に教室の中で他のクラスメートと一緒に学ぶときもありまして、そういう意味では、授業者がどんなふうに、最初、投げかけるかとか、そんなところも教科書の結構大事なところかなと思ひまして。

そういう意味で、「日本文教出版」が小学校からの結びつき

を最初に提示しながら、導入でそういう話をしながらという部分と、あと探究への仕掛けが多いかなと読み取りました。

また、地図ですとか食品とか生活に結びついている部分は共通してますが、探究の仕組みが非常に興味の引きが多いなと感じまして。導入時から行きますと、トータルで見ますと「日本文教出版」を私は推薦したいと考えています。

それでは、採択に移ります。

この数学に関しては、迷われている中でも、4名、「日本文教出版」を挙げています。森川委員が「東京書籍」と迷われ、極楽地委員は「啓林館」と迷われたとしていますが、トータルで見ますと、「日本文教出版」に4名の方がということですの
で、数学の教科書は「日本文教出版」を採択します。

教 育 長) それでは、理科について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

教 育 長) ないようですので、理科の教科書採択について、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

三 宅 委 員) 先ほども言いましたが、外国人の子どもたちと一緒に勉強
していて感じるのが、勉強が嫌いなわけではなくて、おもしろ
さがあれば、どんどん興味を持って進めていくところがある
なと感じています。今回、外国人の児童だけではなくて、それ
は日本の生徒、子どもたちも当てはまる部分かなと思って、そ
の視点で理科の教科書を見ました。

そういった部分で、「東京書籍」の教科書がすごく興味深か

ったです。探究ができるように問題発見、それをどのように観察するか。観察の仕方とか考察のポイントなども詳しく載っていて、実習の方法では、学んだことを生活や社会へ広げられるようにもなっていて、疑問に思ったことを探究しながら、おもしろく科学を見ていけるのかなと思いました。

あと、元素の表ですが、この会社の表が、イラストが載っていて、利用例も絵で載っていて、これはみんな、子どもたちが覚えるのがいつも大変ですが、利用例が載っていたりすると興味も持って、覚えやすいのかなと思いました。

まちなか科学も、社会の中の科学がどのように使われているのかも載っていたりして、そんな意味で理科をおもしろさという視点で見ていくと、興味を持って取り組むことができるのかなということで、「東京書籍」がいいと思いました。

河 盛 委 員) 私は、「啓林館」の教科書を推薦させていただきます。

まず、各章末にまとめ学習、みんなで探究クラブがあって、課題などを探究するものですが、それ以外、探究実験とか、最後のページには探究シートがあって、探究が何段構えにもなっているということで、テーマ、探究ということであれば。

それと割合も、大体、まとめ以降の割合がページ数の１０％ぐらいを占めている。だから、非常に探究に重きを置いている教科書になるということで、「啓林館」を推薦させていただきます。

極 楽 地 委 員) 視点としまして、芦屋が力を今入れている探究について重要視して、拝見いたしました。

個別最適な学び、あとQRコンテンツが充実しているかをポ

イントにいたしまして、どの教科書も全て分かりやすい、子どもが興味を引く仕様になっていたと思いますけど、中でも「啓林館」が、子どもたちの探究心をよりかき立てる視点で、とても美しいなという感覚でした。画像やイラストもそうですが、美術の教科書を読んでいるような写真があったり、引きがあるところで、学びが楽しい、学びたいという意識がすごく高まるところ。

あと動画についても、NHK f o r S c h o o l の動画が分かりやすい。「啓林館」のほかの教科もそうですが、より理科は動画が大事ななと思いましたので、こちらが充実している点。

自由進度で進められつつ、学び合う、探究し合えるところ、バランスがすぐれているところがよいなと思いました。

もう1社、「東京書籍」は見やすく、スタイリッシュでいいなと思ったんですが、QRコードがスマホで見ると文字などが小さかったのが気になりました。より動画、QRのICTの活用が入れているところ、全体的なバランスから、「啓林館」を推挙いたしたいと思います。

森 川 委 員) 私も、「啓林館」を推薦させていただきたいと思いました。

理由は、阪神・淡路大震災の資料が充実しているところと、それだけでなく、兵庫県で言うと南あわじ市の崖の地層であったり、山陰海岸ジオパークエリアのことが書いてあったり、あと赤穂市の塩のことが書かれてあったり、兵庫県とのつながりがある。

あと、コラムが非常に多種多様というか、お料理ラボ、深め

るラボであったり、部活ラボ、防災・減災ラボ、そういう項目で、いろいろな角度で生徒さんの興味を引くような工夫がされているなと思いました。

また、算数や数学、社会など、他教科や、あと高校の科学との関連についても書かれていて、広がりを感じさせるような内容でした。

以上から、「啓林館」を推薦させていただきたいと思いました。

教 育 長) 私は2社、迷いました。「東京書籍」、「啓林館」を迷いました。

その中で比較的に見ていくわけですが、そういう意味では同じ観察でも、観察での探究的な観察で。どちらも探究の進め方は割と示し方がそれぞれですが、探究的な観察って、見るだけじゃないのかというところで。少しそのプロセスが、探究、どちらかというとループと言いますか、行きつ戻りつしながら、こうかな、ああかなみたいなところ、ループ型だと思いますけど、いわゆる直線型ではなくというか。

そういう意味では、それが分かりやすく、特に1年生のところで見たのですが、中学校に入って、さあ、理科に入っていくぞ、小学校からの延長線上ですが、少し深めるという意味合い、思考しながら自分で探究していく流れが分かりやすい。

それから、探究シート、これも自分で進めながらですが、協働的にも進められるシートでもあるかなということと、何よりその本質が実験や観察、この辺りは本質で、いわゆるワークシートだけではなくて、実の実験をしてみる、失敗もしてみるみ

たいなことも含めて、そういったもの。

ラボの話がありましたが、生活や社会とのつながりが非常に色濃いという感じがしたのが「啓林館」でしたので、「啓林館」を推薦したいと考えています。

それでは、採択に移ります。

理科の教科書は「啓林館」を採択します。

教 育 長) それでは、音楽（一般）について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

教 育 長) ないようですので、音楽（一般）の教科書採択について、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

河 盛 委 員) 実は悩みまして、2社しかないのですが、どちらかを選ぶしかないということですが、3年間で見ると、大体、内容的にはあまり変わらない、トータルで見ると大体同じような選択がされているのですが、「教育芸術社」を選ばせてもらいました。

こちらが大分二次元コードが多いです。音楽という特殊な教科書ですので、実際、どういうものなのかを実感する必要があるのではないかとということで、「教育芸術社」を選ばせていただきました。

極 楽 地 委 員) 私も河盛委員と同じく悩みまして、両社とも音楽の楽しさを学べるづくりが共通していますので、どちらもいい教科書だなと思いました。

迷いましたが、今現在、採択されている「教育芸術社」を推

挙げたいと思います。理由としては、先生方が教えやすいと選ばれている点と、レイアウトが見やすく、かなりスタイリッシュであること。

例としては、2年3年も「翼をください」で、QRコードがある点、「学びのコンパス」で、ポイントの記載によって各学びの平準化ができる点がいいなと感じました。学校ごとに差が出ないような仕様になっていると思います。

あと、43ページから45ページのオーケストラは、実際に楽器を持った演奏者の方の画像が載ってイまして、イメージしやすく、記憶に残る点。巻頭の上白石萌音さんだったり、生徒になじみのある方を採用、工夫されていたり。また、芦屋の子どもたちが小学校からなじみがあるソーラン節については、両社に掲載されていますが、「教育芸術社」は曲の由来や説明があることにより深い学びがある点。

あと、国歌についてフラットに事実を説明されているところ、古今和歌集の和歌がもとになっているという細かい説明もなされている点や、M I S I Aさんが2020オリンピックの開会式で君が代を歌われた内容について掲載されているのもいいなと思いました。

以上の点より、「教育芸術社」を推薦したいと思います。

森川委員) 私も、「教育芸術社」を推薦させていただきたいと思いました。

理由は、楽譜がいろいろと掲載されているのですが、見やすいなと思ったのと、調整や記号についての説明も端的にされていて、分かりやすいなと思いました。あと、プロの指揮者、演

奏家のアドバイスが随所に書かれていて、学びや気づきのきっかけになるのではないかと思います。

内容については、スメタナの「モルダウ」についての記載では、「教育芸術社」は、当時のヨーロッパの地図を載せて、スメタナはチェコ出身ですが、チェコが当時オーストリアの支配下にあったことが視覚的に分かるような工夫がされていたり、ラヴェルの「ボレロ」という曲は、延々と繰り返される2つの旋律が全て載っていて、生徒がより深く主体的に学ぶことができたりするのではないかと思います、「教育芸術社」を推薦させていただきたいと思います。

三宅委員) 私も、「教育芸術社」を推薦したいと思います。

最初に歌うときの準備で、「My Voice!」自分の歌声を見つけよう書かれていて、これは本当に自分の個性なので、自分探しにもつながるなと思って、自分の歌声を見つけようということがいいなと思いました。

あと、音楽には音を楽しむ要素も大切だと思います。そうした視点で見てみたときに、創作の部分で、生活や社会の中の音や音楽とか、1年生のを見つけよう学校の中の気になる音とか、創作ではリズムを手拍子したり、音の重なりを楽しみましょうというところで、その音を楽しむ視点も取り込まれているなと思いました。

今、この教科書を使っておられるということで、卒業式で、中学生の合唱を聞いたんですが、すごく感情がこもっていて、私もとても感動し、そういった歌声だったので、今の教科書を使われて、生徒たちもすごく感動的な合唱をしてくれているの

で、この教科書がいいのかなと思いました。

教 育 長) 私、少し音楽科の教員が教科書を使ってする中で、中学校
の中で行くと合唱コンクールとかは、どちらかというと言音楽科
以外の教科の担任もということです。卒業式のお話が出ましたが、
毎時間のイメージの積み重ねとか、合唱コンクールに取り
組んだ流れの集大成が、最後、中学校の卒業式で現れていて、
実はそういう思いを歌声で表現しようとか、こういう音を出し
たいな、こういう言葉を届けたい、こういう思いを届けたいと
いうことは探究だと思います。

そういう意味では、生徒一人一人が感じたことが、どれだけ
大事にされるかといいますか、そういう意味では、学びのコン
パスが非常に効いてくるんだろうなと思っていまして。ここが
音楽の時間等で使われ、クラスの子で共有されることが結構な
他者理解にもつながって、それぞれの思いで、あなたは、ここ
はこんな思いで描いたんだねみたいところで、対話も生まれ
るのかなという視点から、これは「教育芸術社」を私も推薦し
たいと考えます。

それでは、採択に移ります。

音楽（一般）の教科書は「教育芸術社」を採択します。

教 育 長) それでは、音楽（器楽）について事務局から説明をお願いし
ます。

保健安全・特別支援教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はあ
りませんか。

教 育 長) ないようですので、音楽（器楽）の教科書採択について、

各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

河 盛 委 員) 器楽なので、基本的には音楽と同じ教科書を使ったほうがいいのではないかとということで、「教育芸術社」の音楽科の教科書を推薦します。

やはりQRコードが豊富であって、自分で練習することもできるので、より便利になっているのではないかと思います。

ただ、両社とも日本の伝統楽器のページがすごく多いです。琴や三味線などいろいろなものがありまして、各6ページずつぐらい、ギターと同じぐらい取っているのですが、ここまでの必要があるのかな。

多分、文科省がそうせよと言われているから、そうしているのだと思うのですが、正直、日本の伝統楽器、確かに知っていたほうがいいと思うので、紹介はしたほうがいいし、代表的な曲や、こんな音がしますよとか、二次元コードで十分表現できますので、2ページもあれば十分だと思いますけど。

ほかのページで、それだったら、ほかの楽器をもっと紹介してあげたほうが、私はいいのではないかとと思うのですが、文科省がこうしろと強制的な命令があるから、こうなっているのではないかとと思うのですが、何とかならないのかと思いました。

極 楽 地 委 員) 専門性の高い教科なので、こちらについては先生方が教えやすい教科書がいいかと思いました。

両社とも非常に分かりやすく、どちらもいいなと思ったのですが、「教育芸術社」はポップス系から古典まで構成が、バランスが取れていいというところと、見やすくすっきりした印象で、私は素人ですが、ぱっと見で分かりやすいなというイメー

ジを受けました。

「教育出版」も見やすく、ストリートピアノの記載など、今、ブームになっているところであったり、音楽を楽しむという観点、すごくいいなと思ったのですが、河盛委員と同じく、音楽と同じほうがいいという視点もありまして、器楽についても「教育芸術社」を推挙したいと思います。

森 川 委 員) 私も「教育芸術社」がいいと思いました。

理由は、まず冒頭見開きに、ドラマーの方のメッセージがあって、大変興味深く思いました。音楽は旋律に興味が行きがちですが、一方で、リズムの大切さとか、楽しさをここで言っているというところで、音楽が非常に多様で、いろいろな面白さがあることが生徒さんに伝わればいいなと思いました。

ギターのところでも、クラシックギターだけではなくて、フォークギターであったり、ロックギターであったり、ジャズギターなど、様々な使われ方があるところが紹介されていて、多様な使われ方をすることが学べると思いました。弦の押さえ方も非常に詳しく書かれてあったり、コードの押さえ方も詳しい解説があったりするところで、打楽器の紹介でも様々な打楽器が掲載されている。

ドラムセットの写真や、バンドのスコアまで掲載されていることで、音楽を様々な角度から楽しむことができる工夫がされていると思いました。「教育芸術社」を推薦したいと思います。

三 宅 委 員) 私も「教育芸術社」です。これは迷ったんですが、「教育出版」は、後ろについているリコーダーの運指表とギター、キ

一ボードコード表がすごく見やすく、あと速度や強弱のつけ方も、左から右に遅くから早く、弱くから強くという形で書かれていて、目で見て分かりやすいなと思いました。

ただ、森川委員がおっしゃったように、音楽を楽しむ部分で、こちらがいろいろな楽器が出ていたのと、あと音楽の教科書と連動で、この「教育芸術社」がいいと思いました。

教 育 長) 私は、同じように「教育芸術社」を推薦したいと思います。

一番、どちらかというと苦手な子の視点で見ました。歌が苦手、せめて音だけでも、演奏することだけでも、活動の楽しさという視点で見ますと、非常に見やすさ、イラスト、目に優しいといえますか、色使いも含めて、導入というか、常に苦手意識を持った子が、多分得意な子は、ぱっと楽譜を見ただけでさっと思うのですが、やってない子は、こうやって教科書があったほうがというところで、そういう意味では、「教育芸術社」が入りやすいかなと感じた次第でございます。

それでは、採択に移ります。

音楽（器楽）の教科書は「教育芸術社」を採択します。

教 育 長) それでは、美術について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

教 育 長) ないようですので、美術の教科書採択について、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

極楽地委員) 芦屋で造形展に行くたびに、小学生もそうですが、中学生のすばらしい作品に感銘を受けるのですが、美術をこうやって

教育いただいていると実感するような思いでした。

内容については、各社ともに共通するのは、本当にきれいな、アートだなと。読んでいだけで心が洗われるような教科書になっているなというところで、単に美術は同じではなくて、一人一人の探究心だったり、人としての心をくすぐるようなつくりで全ての教科書がなっていて、素晴らしいと感じました。

中でも2社迷ったんですが、「光村図書」を推挙したいと思います。

理由といたしまして、幾つかあるのですが、まず構成として5つのキーワードが分かりやすく、工夫がある点。例えば、日本絵画のページでは、紙質とサイズを変える工夫で、より興味を引くつくりになっていたり、あと紀元前から令和までの年表もかなり工夫されていまして、ゴッホの星月夜、バンクシーなど海外の作品から、安藤忠雄さん、村上隆さん、草間彌生さん、奈良美智さん、日本を代表するアーティストの方までの掲載がしっかりとあった点。

デザインにおいても、和菓子の練り切りや、イサム・ノグチさんの「AKARI」など、子どもたちに知っておいてほしいなと思う内容が結構フルに入っていて、どのページも素敵だなと思いました。

あと、つくりとしまして、1年生の初めの巻頭から「うつくしい！」という谷川俊太郎さんの詩で始まって、2・3年生の巻末で「うつくしい！」で締める。学びではないが、つくり自体が粋で美しいなと感じまして、日本の美しいと思う歴史だったり、文化を感じられることが、子どもたちに非認知能力で学

んでほしいところが感性として伝わるのではないかというところもいいなと思いました。

あと、QRコードの構成としましては、子どもたちの作品の掲載だったり、実際の動画だったり、かなり多彩に掲載されていて、プロのアーティストの方々以外の、自分たちと同じ学年、年代の子どもたちの作品を見ることによって、より刺激を感じるのではないかと思います。

あと、国語に「光村図書」が採用されるので、レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晚餐」など、国語と美術でも連動できる、他教科間の連携の面でもポイントが高く思いましたので、「光村図書」を推挙したいと思います。

森 川 委 員) 私も、「光村図書」を推薦したいと思います。

理由ですが、印象に残ったものはいろいろあるのですが、その中でも「ゲルニカ」の作成過程について、廃墟となった町の写真を大きく載せたり、作成中のピカソの写真を載せたり。背景、作成途中のデッサンの段階の絵を載せたり、作品をより深く学べるような工夫がされているなという印象を感じました。

兵庫県尼崎市出身の白髪一雄さんのダイナミックな作品が紹介されていたりというところも印象的でした。

社会問題と美術のつながりが分かるような作品も多く掲載されているところもありまして、別冊の資料編のテキストも、自分で何か作品をつくろうとしたときのよい手がかりに、分かりやすい手がかりになるのではないかと思います。

美術が自分を表現するもので、他者や社会を理解するためのものであることが、様々な角度から学んでいけるようなつくり

になっているなと思ひまして、「光村図書」を推薦したいと思ひます。

三宅委員) 美術ですが、今、STEAM教育でアートが大事と言われていて、その表現する力、表現力と、想像する力、想像力、そして感じる力、感性で、美術がこれから大事になってくると感じています。

その中で、どの教科書も表現する表現の仕方だとか、想像をどんなふうにしていくかとか、あと美術を楽しむ視点も、鑑賞の仕方なども詳しく、どう楽しむかも導いてくれていて、とてもどの教科書も楽しい、いい工夫がされているなと思ひました。

でも、その中で「光村図書」では、3年生の教科書の22ページで白髪一雄の作品の写真が取り上げられていて、この方、尼崎の出身ですが、具体のメンバーの方で、具体美術が、芦屋から生まれた美術として、芦屋の市民センターにも、この方の大きな絵が飾られています。世界的に具体美術が注目されているので、芦屋から世界的な芸術が生まれたという歴史を、生徒、子どもたちにも伝えることができるし、シチズンシップを育むことにもつながるのかなと。そういった意味で、この教科書がすごく芦屋に合っているのではないかと感じて、「光村図書」がいいかなと思ひました。

河盛委員) 私も、「光村図書」がいいと思ひました。

みんなの工夫という生徒の作品を示しまして、その制作の過程を紹介して、いろいろな工夫をしてつくっている、非常に参考になるのではないかと感じて思ひました。

森川委員も言われましたが、資料編がすごく充実しております

して、どういう画材を使ったら、どういう表現ができるかということが示されていると思います。

ほかにも、教科書も書いていますが、漫画やアニメーションについての解説が適切にできていたのではないかと思います。

教 育 長) 私は、各社、何回も読むというより、鑑賞し直したみたいな感じで、本物に触れると、まさに美術ほど構成が、それぞれの表現が味わえるようになっているなということで、ここからどこに学習の入り口を持っていくか、一番迷ったのが、「日本文教出版」でいくと、表題に工夫があって、鑑賞へのいざないといいますか、そういうものがすごく引きがあるなと感じて、「光村図書」に戻って、「開隆堂出版」に戻ってとしながら、何周も鑑賞していたんです。

結論から行きますと、「光村図書」の間、2年生、3年生のところに日本の絵画を楽しむ5つのキーワードがありまして、さっきの音楽なども、雅楽もそうですが、日本文化があるのですが、当時の文化、背景も含めた、ちょっと歴史をなぞる部分ですとか、そのときの社会風景といいますか、そういったものも、すごく和に着目しまして。

国語で、よく「光村図書」が小学校などでは取り上げられていたりするのですが、三宅委員のおっしゃったアートの部分に、教科横断的な部分も含めて、鑑賞だとか味わうだとか、その言語活動を誘っていく部分とか、あるいは和風の部分とか、その部分がすごく強調されている感を持ちましたので、私は「光村図書」を推挙したいと考えます。

それでは、採択に移ります。

美術の教科書は「光村図書」を採択します。

教 育 長) それでは、保健体育について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

教 育 長) ないようですので、保健体育の教科書採択について、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

極 楽 地 委 員) 今年度、芦屋の研究部会でも力を入れたい教科でもあるのではないかなという視点で見ました。

各社ともに、今の社会に必要な知識がバランスよく掲載されている点がすばらしいなと思ったのですが、中でも「学研教育みらい」を推薦したいと思います。

まず、情報量として、一番、充実しているなと感じました。イラストや写真が分かりやすい点と、自然災害について、防災教育という観点で、南海トラフや阪神・淡路大震災などの掲載もしっかりなされている点、あと章のまとめにチェックポイントがありまして、振り返りができるところもポイントかなと思いました。

探究については、探究しようよというところで、より深い学びを協働的に学べる視点、こちらもしっかりと掲載がされている点です。

細かいですが、ウェルビーイングが151ページに掲載されていて、両社見たんですが、索引からウェルビーイングを考えることができたのが「学研教育みらい」だけだったことで、芦屋ではウェルビーイングをより進めようとしていますので、

その観点でも、「学研教育みらい」はポイントが高いです。

さらに細かいところで行くと、防犯ではこども110番の家・店で、芦屋ではアッシーくんがキャラクターですが、こちらもこの単元で紹介できたり、あとは機能性表示食品や脱炭素社会、カーボンニュートラルなどの必要な情報がしっかりと掲載されている、以上の点から「学研教育みらい」を推薦したいと思います。

森 川 委 員) 私も「学研教育みらい」を推薦したいと思いました。「大修館」とも迷ったのですが。

「大修館」も「学研教育みらい」も、スポーツを行うことは人々の権利であるといったことについて触れられていることと、「大修館」は、運動やスポーツにおけるけがの対策が詳しく取られていたり、昨今の暑さについて、熱中症のアラートや暑さ指数についても分かりやすく書かれていたりすることが印象的だったのですが、「学研教育みらい」は、探究しようよというページが各章ごとに末尾に設けられていて、探究という視点から行くと、こちらがより使いやすいというか、学びやすいのかなと思ひまして、「学研教育みらい」を推薦したいと思います。

三 宅 委 員) 私は、「大修館」を推薦したいと思いました。

理由は、自己肯定感とか自己有用感、自己効力感などを育てることで、ウェルビーイングに関係してくることで、自己形成という部分を中心に見てみました。

その中で、この教科書は、自己形成するにはどうするのが詳しくて、信頼できる人の話を聞くとか、様々な人の生き方に触れる、読書、交流とか、どうしたらできるのか、詳しく載っ

ているのいいなと思いました。

そして、視野を広げて知らないものの見方、考え方を学び、興味・関心を広げることで、試行錯誤して学んだことが自分をつくっていくことで、自分を見つめるきっかけが詳しく載っているのもいいのかなと思いました。

今使っている教科書「学研教育みらい」は、自己形成をどうするのかというときに、様々な場面の経験としか書かれていなくて、具体例が普段の学校生活だと述べられているので、学校生活だけではなくて、外に広がっていることが書かれていないのが少し気になりました。

あと、豊かな心を持った自分を築き上げるとあり、「豊かな心」という抽象的な言葉が使用されることに少し違和感もあり、そんなに簡単に使ってイメージできるものでもなくて、いろいろな良いことも悪いことも体験することで、自分がどういう心を持つかが重要なのかなと思ったので、自分自身を褒めたい、よいことばかりが書かれていると、逆にそれがすぐに思い浮かばない子にとっては、できない人間なのかなと感じてしまわないかという心配をしました。

ストレス対応については、身近な学校生活でのことが取り上げられていて、友達同士の場面設定で、コミュニケーションの方法を考えたりということが載っているのは、すごくいいなと思いました。

しかし、自己形成という部分で見ると、いろいろな経験をして、試行錯誤して、失敗もしたことで自分がつくられていくことが、自己肯定感とかそういうものにつながるのかなと思った

ので、「大修館」がいいと思いました。

あと、相談できるところ、悩んだ場合、どういうところに相談するかという電話番号が載っているコーナーで、「大修館」では、会って話せる場所なのか、子ども対象なのか、死にたいほどつらいとき、どこにかけたらいかがが詳しく載っていて、そこにかけるとどんな対応をしてくれるかも細かく書いてあったので、自分が悩んだときに、どれにかけたらいいのかなと悩まずにすぐかけられることもいいと思いました。

「大修館」を推薦します。

河 盛 委 員) 私も、「大修館」を推薦します。

性について、すごく踏み込んだ記載がされています。健康面や感染症、がんの予防、ワクチンなどについても、最も適切に書かれていると思いました。

特に中学生なので、子宮頸がんワクチンについて、言葉だけですが、それでも書かれているのは、ほかは書かれてないです。やっぱりよかったのではないかと思います。

教 育 長) 私は、「学研教育みらい」と「大修館」で非常に最後迷いました。4社とも共通していたのが、ストレス・リラクゼーション、薬物乱用。ここは本当にいろいろなところで言われているところですので、非常に大事なところで、ここは共通していたのですが、一番迷ったところが、今、河盛委員おっしゃっていた感染症ですとか性感染症のところ、両方見ながら行き来して。「学研教育みらい」は、差別・偏見にまで踏み込んでいる部分がありました。

詳しいものがないのか、余白を残して調べる方向へ行ったほ

うがいいのかという視点で見えておりました。

あと、学習の流れ、体育の教員が学習を進めていくに当たって、学びの単元構成といいますか、1つの与えられた何時間かの単元の中で進めるには、教科書を使って進めていくには探究的なほうで、少し「学研教育みらい」が探究にはシフトしているかなという感じがしましたので、私も本当、迷いに迷ったのですが、「学研教育みらい」を推薦したいと考えます。

それでは、採択に移ります。

保健体育の教科書は「学研教育みらい」を採択します。

教 育 長) それでは、技術について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

教 育 長) ないようですので、技術の教科書採択について、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

森 川 委 員) 私は、「開隆堂出版」を推薦したいと思います。

理由は、まず技術といえば、生徒さんにとって初めて聞かれる言葉の意味が、分かりやすく冒頭で説明されているのではないかなと感じたところが1つです。技術の役割で、2ページ、見開きにわたって説明されているところが印象的でした。

先ほどの報告にもありましたが、問題解決の手順が、問題の発見から課題の設定、構想、設計して制作、成果の評価と改善、その流れが見開きで書かれていて、それが一貫して各ページで使われているところで、非常に見やすく、分かりやすいと思いました。

また、各ページの下部には豆知識という記載があって、主体的に深い学びができるような工夫がされていたりということも感じました。

三宅委員) 私も、「開隆堂出版」を選びました。

この間、ライフイズテックというゲームや音楽をつくるプログラミングの授業の見学に行ってきたのですが、そこに不登校の中高生も来ていて、プログラミングが今、子どもたちが興味を持つ部分かなと思って、その部分を見比べてみました。

その中で、「開隆堂出版」がゲームアプリの開発現場だとか、プログラミングで仕事をしている方のインタビューを2名ぐらい掲載されていて、子どもたちも興味を持つかなと思ったところです。

あと、技術分野の出口で、どの分野がどの課題の改善につながるのかも分かりやすく記されていて、それから詳しい事例も載っていることから、学習で学んだことがどう役立っていくのかもイメージしやすいのかなと思って、この教科書を選びました。

河盛委員) 私も、「開隆堂出版」を推薦させていただきます。

ガイダンスのページでかなりたくさん取っていますが、技術の役割であるとか、目的に応じた形であるとか、製品の材質など、問題解決のための流れについて詳しく書かれている。技術とは何ぞやということを、最初にしっかり示しているのではないかなと思いました。

極楽地委員) 私は、「開隆堂出版」を推薦したいと思います。

技術は、これからの未来を担う子どもたちにとって、本当に

大事なものだと思っています。各社とも、子どもたちがおもしろい、学んでみたいという気持ちをかき立てるようなつくりになっていて、キャリア教育につながるような工夫がなされていたと思います。

中でも「開隆堂出版」は、巻頭で技術のベースをしっかりと説明、ドラえもんだったり、関西万博の画像が載っているのは、かなり子どもたちにとって引きになるのかなと思いました。なじみのあるもの、現物を見てみたいというものも、学びの入り口になっているなと感じました。

また、学びたくなる工夫、中身についても観点が分かりやすい点、あと少しマニアックで深すぎる知識かなと感じるところもあったのですが、その辺は先生方の教え方のスキルが問われると思うのですが、学びたい人は本当に探究心をくすぐられるようなつくりになっていると感じました。子どもたちに興味をもって学んでもらいたいなという気持ちになりました。

以上により、「開隆堂出版」を推薦したいと思います。

教 育 長) 私は、まずS T E A MのT、テクノロジーが主たるところですが、そういう意味では教科横断的なカリキュラムに貢献していることと、あと教科書採択とは外れますが、技術の時間が非常に少ないですね、授業時数として。これは、結構日本として危機的だな。こういうものこそ、まさに時間数増やして、学んでいかないといけないのかなと、改めて技術の教科書を見て。よく主要教科とかありますが、「主要教科」にしないといけないぐらい感じました、教科書をまず見て、どこの会社のものも見て。

その中で、どうやって学習に使うかでいきますと、「東京書籍」と「開隆堂出版」で非常に迷いまして。学習のプロセスを示していくところからいくと、栽培のところで見たんです。比べますと、評価改善がありまして、これは結構ポイントかと思って。つくり直したり、やり直したりみたいなところが、それこそ先ほどどこかの教科で申し上げたループですが、終わりでないです、また次へつないでいくみたいなところで。評価改善のプロセスが示されているので、非常に子どもたちと一緒にになって、学びやすい形が「開隆堂出版」にあるかなと感じました。

そういう意味で、「開隆堂出版」を私は推薦します。

それでは、採択に移ります。

技術の教科書は「開隆堂出版」を採択します。

教 育 長) それでは、家庭科について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

教 育 長) ないようですので、家庭科の教科書採択について、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

森 川 委 員) 私は、「開隆堂出版」を推薦したいと思います。

理由は、まず自立と共生について、ガイダンスのところで、かなり絵を使ったり、いろいろな文字を使ったりして、分かりやすく書かれているところが印象に残りました。

その後続く冒頭の章では、自己肯定感について述べられていたり、自分らしく生きることについても、項目立てで書かれている。

家庭の家族の対応として、多様な家族がありますというところで、里親であったり、ヤングケアラーについての記述があり、それぞれ当事者の声も掲載されているところで、非常に工夫がされているなと思いました。

子どもの権利条約であったり、児童虐待のことについても2ページにわたって見開きで書かれていて、分かりやすいなど。相談窓口の電話番号が書かれていたところが、非常に印象的に残っています。

「やってみよう」「話し合ってみよう」「考えてみよう」という項目もあって、主体的、協働的な学びができるような工夫もある。

豆知識という項目もあって、深い学びもできるのではないかとこのところ、**「開隆堂出版」**を推薦したいと思います。

三宅委員) 私は、**「東京書籍」**がいいと思いました。

今、森川委員がおっしゃったように、**「開隆堂出版」**も多様な家族の形をイラストに描かれていて、私もすごくいいなと思いました。

教科書で、里親や児童施設、そういったところで育った家族もあることを示してくれることは、すごく大事なことだなと思いました。

ただ、芦屋では、給食が各学校で作られていて、この間、給食展があって、私も行ってきたのですが、本当にいろいろ工夫されていて、その中で、卒業した方たちも、思い出に残っていることは給食が多いことで、食が最初にたくさん掲載されている**「東京書籍」**だと、先生が芦屋の給食からシチズンシップを

育むような、そういったことの指導もできるのかなと思いました。

あと、芦屋市がブルーシーフード協定も結んでいるので、家庭科の食の部分から海の環境についても考えるきっかけとなり、先生方が生徒に指導できることかなと思い、「東京書籍」がいいと思いました。

河 盛 委 員) 私も、「東京書籍」を推薦します。「いつも確かめよう」というコーナーが章ごとにありまして、実習の基本的な技能を解説している。内容は、非常に実用的な内容になっているのではないかと思います。

極 楽 地 委 員) 各社とも情報と内容が充実していきまして、感心しました。いつでも学びたくなる、学び直しがしたくなるような教科書になっていると思いました。

また、子どもたちがここまで深く生きる力を学んでいることを保護者も知ってほしいなという思いで拝見しました。

中でも、「東京書籍」を私は推薦したいと思います。

全体的に優しい色合いと、雰囲気、家庭科に合っているなと感覚的には感じまして。スタイリッシュな作りなのもプラスに感じました。

家庭科というと調理実習などのイメージもありますが、実技としましては、教科書というよりも、おしゃれなレシピ本を見ているようなイメージで、楽しく調理ができるところ、子どもには、感覚的に楽しめることも必要なことかと思っています。

汁物と副菜と同時並行するための手順例が同時併記されていて、まして、「開隆堂出版」も記載があったのですが、より分かり

やすいかなと感じたのが「東京書籍」です。料理の細かい点まで配慮されて記載がされていて、個人的にはレシピの基準自体も、リアルに作ってみることを想定すると、一番分かりやすかったというところです。

あと、プロセスを3つに分けている点で、主体的・対話的に深い学びを進められている点、構成的にもよいと感じました。

一番初めに、身近なキャラクターの「クレヨンしんちゃん」や、「サザエさん」、「ぐりとぐら」など、子どもたちが楽しく学べる観点からも、「東京書籍」を推薦したいと思います。

教 育 長) 私は、他教科との関連はどこも共通していたかなと感じました。迷いましたのが、「開隆堂出版」と「東京書籍」です。

「開隆堂出版」でいいなと思ったのは、問題解決のプロセスが、先ほどの技術もそうですが、ここは非常に魅力だなと思いました。

今度、実際、授業に落とし込んだときに、資料的な部分もそうですが、「東京書籍」が、食育のところが芦屋の取組と近い部分と、この味を出していくこと自体、あるいは給食で出てくるメニューをつくっていかうということを探究する、味を出すのも探究なので、この辺りも芦屋としては近しいものがあるなと感じました。

特に調理を通して、小学校から家庭科があるわけですが、家の方の手作りの苦勞を知ったり、給食室の方々の苦勞を知ったり。何より、もしかしたら自分で作って生きていかなければいけない、食べていかないといけない部分ともつながりますので、食育のところは大事かなと思って。「東京書籍」が、そういう

意味では食育のところ、充実しているかなと思いました。授業を進めるに当たり、使いやすいなという感じを受けました。

家族のところも出し方はそれぞれですが、結局、学習というか体験を通して、あるいは自分の過去も振り返りながら、家庭も見ながら、赤ちゃんとか小さい子に触れ合うことで、もう1回取り戻していく部分があると思います、異年齢のところ。そういう意味では、「東京書籍」が、赤ちゃんの写真をたくさん使っていたんですが、ここは非常にインパクトがありました。

例えば、今、世の中では割と虐待とか、いろいろなことも叫ばれる中で、いい親を育てることを、1人の大人として、ちゃんと小さい頃から大事に自分も育ってきて、今度、大事に育てる側になる部分では、非常に教科書にインパクトを感じまして、私は「東京書籍」を推薦したいと思います。

それでは、採択に移ります。

家庭科の教科書は「東京書籍」を採択します。

教 育 長) それでは、英語について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

教 育 長) ないようですので、英語の教科書採択について、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

三 宅 委 員) 私は、「三省堂」の教科書がいいと思いました。

というのは、取り上げている内容が、時代にそくしていると感じました。

現在、使っている「東京書籍」を見たんですが、英語を学ぶ

ことを最初のページで、世界全ての人が幸せに暮らすことのできる世界のために、どんなことができるか考えていく、英語で伝えあうことを通してということが書いてありました。

アフリカに対して支援というか、助けてあげるといような一方的な目線、どうしても助けてあげる目線のものが多いなと思ったので、今の時代から見ると、少し古い時代の考え方かなと感じました。

「三省堂」は、なぜ外国語を学ぶかも、いろいろな立場の人、3人が取り上げられていて、その中で、和菓子職人さんの方も取り上げられているのが、本当、今の時代にそくした例だなと思いました。

身近なことがテーマで、学校生活につながる職業体験という部分で、「東京書籍」と「三省堂」どちらもあるのですが、「三省堂」は、パン屋さんという設定も自然な感じだなと思いました。

社会課題も幅広く取り上げられていて、パン屋さんで働いたことから、その後で社会課題につながる読み物につながったり、すごく入口も自然で、普段の自分たちの生活の中からの社会課題につなげている、本当に上手に、うまく今の時代に合った内容だなと思いました。

あと、1年生の部分で、小学校から中学生になって、英語の話すことで見たんですが、「三省堂」は、話すのは話す、書くのは書くで、全く別になっているので、話すことに集中できる仕組みになっているのかなと思いました。現在使っている「東京書籍」は、話したことを書くようになっているので、そのま

ま連続になっていて、どうしても書く意識から、丁寧な、習った文法を話さなくてはということで、話すことに臆病になってしまうのかなという気がしました。

それに比べて、「三省堂」は、それよりまずは伝えたいことを話そうという話すことに目を向けていて、書くのは、後から別の部分で、文法をきちんと自分の中で学べるようにしている「三省堂」がいいのかなと思いました。

河 盛 委 員) 私は、「東京書籍」の教科書がよいと思いました。

中学1年の教科書に限ると、会話文がほとんど主体になっていまして、コミュニケーション能力を高めるのを目標にしているのかな。小学校の教科書との連絡性が最も自然なのではないかと思いました。

ニューワードに発音記号が書いてあるんです。書いていない場所が結構多いですが、二次元コードがあるから、そんなものは要らないのではないかという考えも当然あると思いますが、ただ現時点では、辞書を引くと発音記号は書いてあることを考えると、書いてあったほうが親切ではないかと思いました。将来は分かりませんが。

極 楽 地 委 員) 数年前に比べて英語が当たり前だと思えるような状況に変わってきていると、今回、さらに感じました。

各社ともQRコンテンツが非常に充実していて、二次元コードを使いながら、耳から目から入るところ、これは子どもたちにとっては自然なのだろうと思います。

中でも、私は「東京書籍」を推挙したいと思います。

構成がすっきりしていて、全体的に分かりやすいという印象

がございました。また、情報の幅が広く、身近にリアルに感じる場面の内容が、私自身は多く感じましたので、いいかなと思います。

巻末の「語順カード」がイラスト入りで、記憶に残る工夫がされていて、これを使って生徒同士で学び合うところで使ったり、C a n - D o リストは各社ともありますが、書く、読む、振り返りと目当てをしっかりと分かりやすく書ける点はプラスだなと思います。

以上の点により、「東京書籍」を推薦したいと思います。

森 川 委 員) 私も、「東京書籍」を推薦したいと思います。

理由は、ビデオレターがステージごとにあるところが、やはり実際の海外にいらっしゃる方からのビデオレターを見て、それに対して自分だったらどう答えようかという意識に行きやすいのではないかと感じましたので、より生徒の学ぶ意欲を引き出せる工夫がされているなというところが印象に残りました。

また、いろいろな工夫がされているところも、Sounds and Lettersで、基礎をきちっと押さえる工夫もされているのではないかとこのところ、「東京書籍」を推薦したいと思います。

教 育 長) 私は、S D G s、環境・人権、これは英語科を通して触れてほしい部分で、まさにどこもそれぞれ工夫がなされて。こういうものが英語の学習を通して気づいたり、学んだりすることはすごく大事なところですよ。

小学校からの接続の視点も大事だなと思っていまして、英語の本質的なところでいくと、単語を覚えるよりもコミュニケーションを英語で取って、逆にA L Tの人や海外から来た人や、

あるいは海外にいた人に触れることは、少々発音が間違っているところかなと思っていて、コミュニケーションを誘うことはすごくポイントかなと思っています。

日本の英語の4技能の中で、「話す」が弱いとされている中で、たくさん話す機会は必要なのかなと思って、教科書を見ていました。

「三省堂」と「東京書籍」で最後迷ったんですが、どちらもコミュニケーションはすごく誘っている感じはしました。もちろん、授業者の展開もありますが、そういう意味で、「東京書籍」が、エンジョイコミュニケーションですとか、ペアトークを誘っているところは、これがかなり数、たくさんこなせるのではないかという期待感も込められて、私は「東京書籍」を推挙したいと考えます。

それでは、採択に移ります。

英語の教科書は「東京書籍」を採択します。

教 育 長) それでは、道徳について事務局から説明をお願いします。

保健安全・特別支援教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

教 育 長) ないようですので、道徳の教科書採択について、各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

三 宅 委 員) 私は、「日本文教出版」がよいと思いました。

どの教科書も、私の時代と違ってすごく充実していて、どれを読んでも本当、心に響くものばかりでいいなと思ったのですが、ただ、いじめという視点で、視野を広げてというところで

いろいろなことが書かれてますけど、その中で、怒りがどう
いうものだとか、コミュニケーション方法だとか、自分を知っ
てどうするのかだとか、役立つものもあったり、いじめの仕組
みも目で見て分かるように書かれていたり。あと、いじめの法
律の部分でも書かれていることで、いじめに対していろいろ書
かれているのがいいのかなと思いました。

あと、ちょっとおもしろいなと思ったのが、「光村図書」の
なんだろうなんだろう哲学の漫画がおもしろくて、外国では哲
学、子どものときから学んでますけど、日本ではなかなか哲学
を学ぶ場がなくて、正解のない答えをみんなで対話しながら話
し合う部分がすごくおもしろいなと思いました。

ただ、いじめの部分と、あと読み物として「日本文教出版」
がいいと思いました。

河 盛 委 員) 私も、「日本文教出版」がよいと思いました。

各学年でいじめに向き合う、よりよい社会を考えるというユ
ニットがありまして、芦屋に特化したのではないかと思います。

極 楽 地 委 員) 小学校の教科用図書の選定でもお伝えしたのですが、現場
の先生が、授業の中で道徳の授業が一番難しいとおっしゃって
いたことを記憶しています。難しい授業であるからこそ、属人
化せずに、先生方が進めやすく、授業の標準化、平準化ができ
ただけできるようがいいのではないかという観点と、より子ど
もたちが公平・公正に学べる授業ができるようにという観点も
大事にしました。

プラス道徳で一番大事にしたのは、非認知能力、倫理観を深

めることを大切にしてほしい、この２点で見させていただきまして、「日本文教出版」を推薦いたします。

理由は、主体的に自分ごととして考えさせるつくりになっている点、非認知能力を深めるところで、自分の意見、友達の意見、対話を通して振り返りをする。そして、学ぶところ。これらの点より「日本文教出版」が一番よいなと感じました。また、道徳ノートが、意見を書いて学び合うつくりになっていて、こちらもしやすいそうでいいなと思いました。

あと、表紙裏など、全体的に明るい印象に感じところ、これも感覚的なところですが。写真の画像の背景が見やすかったり、製本自体もいいなと感じました。

あと、「光村図書」は、全体の雰囲気明るくすごく好きです。また、日本教科書さんは、鈴木寛先生がつくっていらっしゃるということで、男女共同参画、ウェルビーイング、京セラ創始者の稲盛和夫さん、キャリア教育なども入っていて、道徳専門の会社さんならではの視点が多く掲載されていて面白いなと思ったのですが、全体のバランスを通じまして、「日本文教出版」を推薦したいと思います。

森 川 委 員) 私も、日本文教出版さんを推薦したいと思いました。

理由は、いじめのところが充実しているなという印象でした。いじめの行動について、きちんと書かれていることや、いじめが決して許されない行為であることも明記されている。

アンガーマネジメントについても取り上げられていたり、いらいらしやすい考え方やコミュニケーションの方法、いじめ防止対策推進法についても記載があるところで、視野や学びを深

める工夫がされているなと思いました。

あと、道徳ノートという別冊があつて、生徒が自分で学びやすい印象も受けたところで、「日本文教出版」を推薦したいと思いました。

教 育 長) 私は、まずは一番道徳で気をつけていきたいなというか、授業の中では、議論する道徳や深めるところはすごく大事ななと思つていまして、いわゆる対話だとか何とかと言いますが、思いや考え、正解がないところで、そういう意味でどんどん自分の思いや、三宅委員のおっしゃった哲学的なところを語り合つていくことが本当に大事なところだな。多様性を認め合うことにつながると思つていまして、その部分と、今、芦屋が直面している課題と含めて。

教科書で特に見比べたのが、難しい14歳の中2を見ていたんです。道徳科の教師がいるわけではなくて、いろいろな教科の教員が道徳を授業する。そういう視点で見えてきました。

迷ったのは「光村図書」と「日本文教出版」です。この両方でかなり迷ひまして。まず、「光村図書」ですが、哲学対話といますか、最初に目に飛び込んでくるのは、どんな学習にしていくなのだというところで、一番言われているのは、答えが1つではない。ここが、14歳の子にとっては、いろいろな受験勉強もしながらのところで、この答えが1つではないところを皆で考えを深めていくことの大事さは、まず飛び込んでくる部分かなと思つていまして。これを教員がどんなふうに、いろいろな教科の先生が授業を一緒につくっていくのかなという視点で、興味深く見ていました。

もう1つ迷ったものが「日本文教出版」で、こちらがいじめのところ、SNSのコメントの書き込みの対話のリアルさとか、1人で悩まないみたいなのが、授業としては一旦、13歳、14歳は結構、大事なところかなと思っていて、そういう意味で、ここの部分との見比べになりました。

結論からいきますと、「日本文教出版」が、いろいろな教科の教師が授業をするとなると、取り組みやすいのではないかという部分と、あとはいじめに特化して、ボリュームといいますか、力の入れ具合を感じまして、非常に難しい14歳で見ますと、「日本文教出版」を私は推薦したいと考えた次第です。

それでは、採択に移ります。

道徳の教科書は「日本文教出版」を採択します。

全ての教科の選定が終わりました。再度、各教科について、確認をいたします。

- ①「国語」は「光村図書出版」、
- ②「書写」は「光村図書出版」、
- ③「社会（地理）」は「帝国書院」、
- ④「社会（歴史）」は「日本文教出版」、
- ⑤「社会（公民）」は「日本文教出版」、
- ⑥「地図」は「帝国書院」、
- ⑦「数学」は「日本文教出版」、
- ⑧「理科」は「啓林館」、
- ⑨「音楽（一般）」は「教育芸術社」、
- ⑩「音楽（器楽）」は「教育芸術社」、
- ⑪「美術」は「光村図書」、

⑫「保健体育」は「学研教育みらい」、

⑬「技術」は「開隆堂出版」、

⑭「家庭科」は「東京書籍」、

⑮「英語」は「東京書籍」、

⑯「道徳」は「日本文教出版」、

間違いありませんでしょうか。

教 育 長) 次 に、特 別 支 援 学 級 で 使 用 す る 教 科 書 に つ い て、協 議 を 行 い
ま す。

一 般 図 書 に つ い て 事 務 局 か ら 説 明 を お 願 い し ま す。

保 健 安 全 ・ 特 別 支 援 教 育 課 長) < 議 案 資 料 に 基 づ き 概 略 説 明 >

教 育 長) 一 度、皆 さ ん で 現 物 を 見 て い た だ い て、御 質 問 と い う 形 に
し ま し ょ う か。

(図 書 閲 覧)

極 楽 地 委 員) 中 学 校 と 小 学 校 は 違 っ た 教 科 書 を 使 い ま す か。

保 健 安 全 ・ 特 別 支 援 教 育 課 長) 小 学 校、中 学 校 関 係 な し に、そ の 子 の 発 達 の 段 階 に 応 じ て 必
要 な も の を 3 0 6 冊 の 中 か ら 選 ん で い く 形 で す。た だ、学 習 が
あ る 程 度 で き て い る が、ち ょ っ と 学 年 を 下 げ た ほ う が い い 場 合
は、普 通 の 教 科 書 の 1 つ 下 の 学 年 の 本 を 選 ぶ と か、そ う い う こ
と は 可 能 に な っ て い ま す。

河 盛 委 員) こ う い う 本 は そ ん な に 部 数 が 出 て な い で す ね、も と も と。

保 健 安 全 ・ 特 別 支 援 教 育 課 長) は い。

河 盛 委 員) 選 ん だ と き に、必 ず あ る の か ど う か。

保 健 安 全 ・ 特 別 支 援 教 育 課 長) 一 応、教 科 書 と 一 緒 で、選 ぶ と き に こ の 本 を 選 び ま す と い う
こ と を さ っ き の 3 0 6 冊 の 中 か ら、こ の 本 を 選 び ま す と い う 形
に な り ま す。

河 盛 委 員) 絵本の会社でしたね。

保健安全・特別支援教育課長) そうです。ただ、兵庫県教科書株式会社が送ってくる。

河 盛 委 員) 教科書会社が送ってくるのですか。

保健安全・特別支援教育課長) 教科書の会社です。

河 盛 委 員) そうなんですか。

保健安全・特別支援教育課長) はい。という形。ですので、ないものは、国がなくなった、
廃盤になったものは消えていったりするので。要は無償給与で
すので、教科書の代わりに一般図書を教科書として使用します。
例えば、国語は教科書を使い、算数だったら、算数の教科書を使
わない代わりに、これを算数の教科書として使いますという
形になるので。

極 楽 地 委 員) 出版社から1回、教科書会社に卸して。

保健安全・特別支援教育課長) 多分、そこから来る。

極 楽 地 委 員) そこから教科書会社から来る。この本自体は、どこの教科
書会社が取扱えるということが契約である。

保健安全・特別支援教育課長) いや、その辺は分かりません。国が、まずこれを承認しま
したということで来て、兵庫県でさらにもう少し絞ってという
形に。

三 宅 委 員) 1人何冊などはあるのですか。

保健安全・特別支援教育課長) いや、各教科です。

三 宅 委 員) そうなのですね。

極 楽 地 委 員) 選ぶのは基礎の先生。

保健安全・特別支援教育課長) そうですね、基礎の先生などが選びます。

極 楽 地 委 員) スキルが要りますね。

保健安全・特別支援教育課長) そうですね。

極 楽 地 委 員) 新任の先生とかは結構大変ですね。

保健安全・特別支援教育課長) 前の学年の先生と相談して、今の段階はこうだからということ
とで教科書を選ぶことが多いですね。

三 宅 委 員) 1 回選んで使ってたけど合わなくて、変えたいということ
はできるのですか。

保健安全・特別支援教育課長) できないです。

三 宅 委 員) できない。

極 楽 地 委 員) 初めのセレクトが大事ですね。

保健安全・特別支援教育課長) はい。

三 宅 委 員) ということは引継ぎとか、そこですよ。合わなかったら
変えられない。

保健安全・特別支援教育課長) 一般図書に関しては、子どもの成長具合によるので、毎年、
これに関してはこういう本が採択されました。去年は二百幾つの種類
がありました。今年は三百幾つになっています。その中から、子ども
が例えば1年たって成長したら、違う本を採択します形になるので、
一般図書だけは毎年採択の形になります。

極 楽 地 委 員) これは県と一緒にいう。

保健安全・特別支援教育課長) 県と一緒にですね。芦屋市は県と一緒に準拠している形にして
います。

教 育 長) それでは、御質問等はされましたか。

ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はあ
りませんか。

それでは、採択に移ります。

一般図書は、別添資料の306冊および拡大教科書を採択し
ます。

教 育 長) ただいまから非公開で審議いたします。

〈非公開審議〉

教 育 長) 次に、日程第2、報告第3号「令和6年度教育委員会関係
補正予算について」を議題とします。

提案説明を求めます。

管理課課長補佐) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) 説明が終わりました。質疑はございませんか。

極 楽 地 委 員) いじめの重大事態に対しての第三者委員会について、こち
らは6月の補正予算などで3件されたと思いますが、また別件
でという認識でよろしいでしょうか。

学校支援課長) おっしゃるとおり、別件のものでございます。

極 楽 地 委 員) それは3件と別件で、もう1件、件数は大丈夫でしょうか。

学校支援課長) 件数はこれまでの、6月で御報告したものに追加で1件と
いう形で。

極 楽 地 委 員) 合計4件、今あるという認識でよろしいですか。

学校支援課長) いえ、数で言いましたら、少し整理をさせていただく必要
があると思うのですが、現在、学校主体のもので調査をしてい
るものが、今、調査中のもので合計4件、そして、いじめ問題
対策審議会専門部会として、いわゆる教育委員会主体の会議と
いたしましては3件で、今、調査を進めているところになりま
す。

極 楽 地 委 員) 今回、学校主体ですが、被害者の方が学校主体でという方
向、お話をなされて、学校主体で進める形になったのでしょうか。

学校支援課長) 基本的に、文部科学省のガイドラインには、不登校に係る

いじめ重大事態につきましては、学校の先生方がその子どもたちの状況をよく御存じだということもあり、基本は学校主体のものでということになっていきます。

その中で、いろいろと学校から子どもの状況、保護者の様子等を鑑みまして、教育委員会で、学校主体で行っていく決定をしております。

河 盛 委 員) この図書館の窓口等運営業務ですが、人件費等がありますが、ほかにどんなものが、内容を。図書購入費などは入ってないですね。

教 育 長) 窓口運営業務ですね。ほかにどんなものが来ますか。

図 書 館 長) ほぼ人件費ですが、それ以外に事務費などが含まれています。事務費は委託業者の本部管理費と、あとそれ以外に諸経費というか、スタッフが使用する管理用パソコンや消耗品費などの経費が含まれております。

河 盛 委 員) 図書館事業の大規模修繕などを除いて、大体、総経費の何%ぐらいを占めるんですか。

図 書 館 長) 令和４年度予算額で、図書館費が１億８，４９４万６，０００円ですので、そのうち令和４年度の委託料が約５，８００万円ですので、約３０％になります。

河 盛 委 員) ３０％、分かりました。

森 川 委 員) いじめ重大事態の関係ですが、その４件ある分についての補正予算ですか。そこに第三者委員が入る、そういう趣旨ですか。

学校支援課長) いえ、４件のうち３件はこれまで 継続してきたものですが、令和６年７月に、以前、御報告させていただいたのですが、

1 件、学校主体になって、新しく重大事態として認定したものがございますので、その分の学校主体のものの、今回、補正予算に経費を上げているものです。

森 川 委 員) 学校主体の調査には、今後は第三者の弁護士であったり、臨床心理士の方が必須で入られる、それに対する整備も併せてされる。それはまた別の話だと思いますけど、それもされるということでしょうか。

学校支援課長) 重大事態を認定した場合、学校主体、もしくは教育委員会主体の調査で 2 つに分かれますが、その際の学校主体が今回、こちらで諮られているものになります。第三者の方、弁護士であったり、臨床心理士等の力を借りて、教員とともに事態の分析、今後の対応、再発防止の、子どもの立場に立ったときに、より精度の高い調査であったり、再発防止ができるという判断をいたしております。

森 川 委 員) 分かりました。ありがとうございます。

極 楽 地 委 員) 整理すると、今、重大事態として芦屋市が認定しているものは 7 件という認識、学校主体 4 件と教育委員会主体 3 件で、合計 7 件でよろしいでしょうか。

学校支援課長) 7 件で、そのとおりです。

森 川 委 員) 話変わりますが、G I G A スクール構想の 1 人 1 台端末の整備事業ですが、3 億 7, 7 8 1 万円で、この 5 年経過して更新時期だからというお話だったかと思いますが、イメージとすれば、今回、これは何人分の端末になるのでしょうか。

打出教育文化センター所長) 現在、当然見込みではありますが、児童と生徒数分、5, 7 2 1 台と、予備機として文科省が言う最大総数の 1 5 % の 8 5 0

台と、あと指導者分が２８５台になります。

ただ、指導者分に関しては補助対象外で、市単独負担にはなりません。

森 川 委 員) ６，０００人は、多分、小中学校の全児童生徒数の合計ぐらいかなと思いますけど、新たに入学してこられるお子さんがいらっしゃると、それはその都度、買っていくという理解ですか。それとも６年分まとめて買って、入学されてきたときに、その都度配っていくことになるのでしょうか。

打出教育文化センター所長) すべての端末を入れ替えます。

森 川 委 員) 入れ替えるのですか。

打出教育文化センター所長) はい。

森 川 委 員) 例えば、今、小学校１年生の子だと今年４月にもらっているのですが、それも入れ替えるという感じですか。

打出教育文化センター所長) はい。

森 川 委 員) そうなのですね。

打出教育文化センター所長) 小学校だったら小学校で、６年生が卒業するときにそれは置いていって、それが基本的には新１年生に回る。中学校３年生の分は中学校１年生に回る。ぐるぐる回していているということです。

森 川 委 員) 分かりました。

打出教育文化センター所長) どの子も、５年前のものを全部使っている。それを来年度の４月からは難しくて、恐らく後半になってくるとは、今は考えているのですが、来年度中に小学校１年生から中学校３年生までの全部を交換する形を今、考えています。

森 川 委 員) なるほど、分かりました。

河 盛 委 員) とある自治体では、1年で3分の1ぐらい潰れているところがありますが、ここでは大体何%ぐらいが。

教 育 長) 破損ですね。

河 盛 委 員) 不能になるというか。

打出教育文化センター所長) それが、Windows機なのか、Google chromeとiPad、大きく3つOSがありますけど、故障率で言うと、iPadは非常に少ないです。ですから、我々としては予備機に関しては、これまでの経験上、大体年間1、2%しか故障していないということがあります。

ただ、文科省は15%としています。だから、OSによって壊れる率が異なっているところがあります。だから、今回の債務負担行為の上げていく金額に関しましては、一旦、足りなくなってしまうと困りますので、最大15%の分で計上していくのですが、時期が深まれば、また予備機の台数の精査等も含めて、金額を可能な範囲で押さえていくことも考えてはいますが。

河 盛 委 員) 過去5年間は予備機の中でやっていったのですか。

打出教育文化センター所長) 過去5年間。

河 盛 委 員) 今まで、毎年壊れているわけでしょう。それは最初に、もともと予備で取っていたものでいけているわけですか。

打出教育文化センター所長) 予備機もありますし、残念ながら芦屋市、児童生徒数がどんどん減少しているところで、iPadが余り気味でもありますので、それを上手に運用しながら対応してきているところはあります。

河 盛 委 員) 足りなくはなっていない。

極 楽 地 委 員) タブレットの件ですが、計算したら6,856台、7,0

00台弱ぐらいの入替えになると思うのですが、これを予算として、内訳としては、セッティングなどは外部委託で、アウトソーシングをする予定などもあるのでしょうか。

打出教育文化センター所長) 前回に関しましては、それを委託できていなかったのもので、当時の打文職員を中心に、教育委員会総動員でキッティングから何からやっていったという経過はあるのですが、今回は5万5,000円が補助上限に入っているのですが、その中にキッティング作業とかですね。ですから、IDとパスワードだけ入れると、子どもたちはすぐに使える状態になるような形を目指して進めていきたいなと考えています。

極楽地委員) お聞きして、安心しました。それがすごく気になっていまして、7,000台近くを打文さんの倉庫などでキッティングされるのを想像していて、かなり大変なことになってしまったので、ぜひ予算をしっかりと取るように願っています。

業者さん、一括でサーバーからデータを送ったり効率化もできると思うので、整合性も高く、任せられるところは任せていったらいいなと思いますので、今後、こういうことがあれば、どんどんとアウトソーシングいただきたいなと思います。よろしくお願いします。

教 育 長) タブレットで、指導者分は補助対象外でしたが、予備機は対象外ですか。

打出教育文化センター所長) 対象内です。

教 育 長) 対象内ですか。負担割合、市の負担は。

打出教育文化センター所長) 3分の1です。

教 育 長) 3分の1。では、3分の2が国。

打出教育文化センター所長) 国です。

教 育 長) これは全国共通ですか。

打出教育文化センター所長) 全国共通です。

教 育 長) なるほど、分かりました。

森 川 委 員) さっきのタブレットの話で、1 台当たりの金額は、大体 6 万円ぐらいかなと思っていたんですが、単純計算したら。この 6 万円で、iPadを購入されるというイメージでしょうか。それともWindowsのほうでしょうか。

打出教育文化センター所長) 現状、芦屋市の希望としてはiPadを考えています。いろいろなものをひっくるめて 5 万 5, 0 0 0 円内に収まるように、県が市場調査して、仕様書を書きましてというところを進めているところではあります。

森 川 委 員) 分かりました。

極 楽 地 委 員) 懸念事項としまして、卒業生がiPadを返却するときに、中のデータが消えるのが嫌だという子どもたち、保護者のお声を耳にすることがよくあったのですが、今回、1 年生から 6 年生、中学 1 年生まで 3 年生まで、全てハードが新しくなることで、データが消えてしまうと思うのですが。これについて、クラウドなどに各自のデータを上げる御予定はありますか。もしないのであれば、恐らく子どもたちや保護者から、そういう問合せなりが入ってくると思いますので、事前に保護者の方にアナウンスしておくほうがリスクとしては低いのかなと思いましたので、ちょっと考えていただけたらと思います。

打出教育文化センター所長) 分かる範囲ですが、現状でも取り出すことができる設定になっていると認識をしています。

極楽地委員) できなかったのが、今はできるようになった。2年前はできなかったですが、クラウドに上げたり、データは自宅でも取り出しできるという認識でよろしいですか。

打出教育文化センター所長) はい。

極楽地委員) 分かりました、安心しました。

教 育 長) Officeのアカウントを、たしか1人1アカウント配布し行っていると思います。

極楽地委員) Microsoft365のアカウントが付与されていて、それが稼働しているという認識でよろしいですか。

教 育 長) はい。

極楽地委員) 分かりました。ありがとうございます。

教 育 長) 他に質疑はございませんか。

それでは、報告第3号「令和6年度教育委員会関係補正予算について」の報告を受けたものといたします。

教 育 長) 非公開での審議は終了いたしましたので、これより公開いたします。

〈非公開審議 終了〉

教 育 長) 閉会宣言